

## 令和4年度 学校評価集計

### (1) 学校評価の結果報告（成果と今後の課題）

<input type="radio"/> 本校全職員	P 1 ~ 3
<input type="radio"/> グラフ	P 4
<hr/>	
<input type="radio"/> 幼稚部職員	P 5 ~ 7
<input type="radio"/> 幼稚部保護者	P 8
<input type="radio"/> グラフ	P 9
<hr/>	
<input type="radio"/> 小学部職員	P 10 ~ 12
<input type="radio"/> 小学部保護者・小学部児童（5年以上）	P 13 ~ 14
<input type="radio"/> グラフ	P 15
<hr/>	
<input type="radio"/> 中学部職員	P 16 ~ 18
<input type="radio"/> 中学部保護者・中学部生徒	P 19 ~ 20
<input type="radio"/> グラフ	P 21
<hr/>	
<input type="radio"/> 高等部職員	P 22 ~ 24
<input type="radio"/> 高等部保護者・高等部生徒	P 25 ~ 26
<input type="radio"/> グラフ	P 27
<hr/>	
<input type="radio"/> 分教室職員	P 28 ~ 30
<input type="radio"/> 分教室保護者（※児童については対象者少数のため統計なし）	P 31 ~ 32
<input type="radio"/> グラフ	P 33
<hr/>	
<input type="radio"/> 寄宿舍	P 34 ~ 35
<input type="radio"/> グラフ	P 36
<hr/>	
<input type="radio"/> 事務室	P 37
<input type="radio"/> グラフ	P 38

### (2) 実施期間

令和4年11月24日（木）～12月9日（金）

対象：教職員、児童生徒（小学部5年以上）、保護者

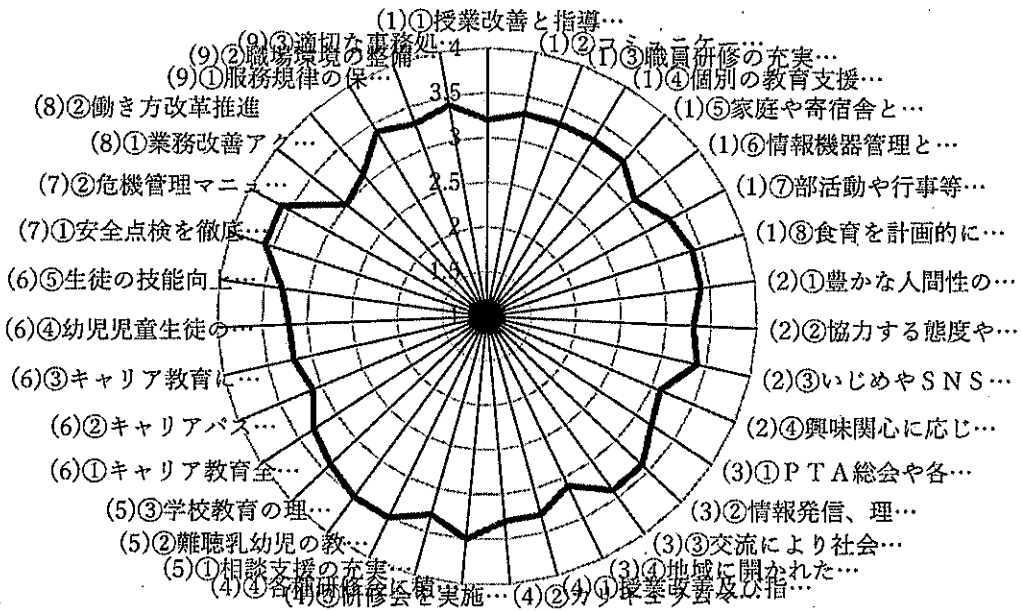
令和4年度 長崎県立ろう学校 学校評価 集計表(本校全)

学校教育目標	○基本的人権を尊重し、幼児児童生徒の特性や発達段階、教育的ニーズに応じて幼稚園から高等部まで一貫した教育を行うことにより、健康で明るく心豊かな人間を育成する。 ○聴覚障害による学習または生活上の困難を改善克服することにより、生きる力を高め自立し積極的に社会参加できる力を培う。		
学校経営目標	①本校と佐世保分教室が目標を共有し、保護者及び寄宿舎との連携を深め、幼稚園から高等部専攻科まで一貫した教育を推進することにより、確かな学力とコミュニケーション力を基礎に、生きる力を育成する。 ②一人一人の個性を伸ばし、豊かな人間性の育成に努め、明るく元気な学校づくりを推進する。 ③関係機関や地域と密に連携し、社会に開かれ信頼される学校づくりに努める。 ④特別支援教育及び聴覚障害教育における教職員の専門性及び指導力の向上に努める。 ⑤本校、佐世保分教室が連携し、全県的な特別支援教育のセンター的機能の充実を図る。 ⑥個々の幼児児童生徒のキャリア発達を支援し、ニーズに応じた進路指導及び進路実現を図り、自立と社会参加を目指す。 ⑦施設・設備の整備を進め、幼児児童生徒及び職員の安心安全な教育環境の充実に努める。 ⑧業務改善アクションプランに基づき会議や行事の精選及び業務分担等の適正化を図り、働き方改革を推進する。 ⑨コンプライアンスを徹底し不祥事を根絶することにより、働きやすく風通しの良い職場環境づくりに努める。		
4：十分達成している 3：おおむね達成している 2：どちらかという達成されていない 1：ほとんど達成されていない			
目標達成のための主な取組	点数	評価 %	今後に向けての課題
<b>(1)確かな学力と生きる力の育成</b>			
①校内研修及び教科等部会を中心に、自ら学ぶ力を育むための授業改善と指導の充実に努める。 (評価点 3.2)	4 3 2 1	27 70 4 0	
②聴覚活用の力を最大限に伸ばし、言語力、コミュニケーション力を高め、確かな日本語の習得と学力向上を目指す。 (評価点 3.3)	4 3 2 1	35 61 4 0	
③自立活動を中心に聴覚障害による学習及び生活上の困難を改善・克服するための組織的な指導、支援の実践と職員研修の充実による専門性向上を図る。 (評価点 3.3)	4 3 2 1	36 57 7 0	
④個別の教育支援計画及び個別の指導計画に基づき、家庭や関係機関と連携し個々の教育的ニーズに応じた指導・支援を推進する。 (評価点 3.3)	4 3 2 1	34 63 4 0	
⑤家庭や寄宿舎と連携し、幼児児童生徒の基本的生活習慣及び学習習慣の確立を図る。 (評価点 3.3)	4 3 2 1	32 63 5 0	
⑥情報機器管理や整備の充実を図り、授業や家庭学習におけるICT機器を活用した個別最適な学びや効果的な指導内容・方法の充実に努める。 (評価点 3.1)	4 3 2 1	20 71 9 0	・情報機器の管理や整備は充実しており、研修会も実施してきた。 ・今後タブレットが教員へ配付されることもあり、「ICT活用データベース」等を参考にし、ICT機器を活用した指導に教員が取り組む必要がある。
⑦部活動や行事等の取組により幼児児童生徒の体力向上に努め、スポーツに親しみ主体的に取り組む態度や習慣を育成する。 (評価点 3.3)	4 3 2 1	33 61 5 0	
⑧食育を計画的に実践し、食への関心及び心身の成長や健康の保持・増進への意識を高める。 (評価点 3.4)	4 3 2 1	39 61 0 0	

目標達成のための主な取組	点数		今後に向けての課題
		後期	
<b>(2)個性の伸長と豊かな人間性の育成および明るく元気な学校づくり</b>			
①幼児児童生徒の基本的な人権を尊重し、年間計画に沿った人権教育を推進するとともに、全体計画に基づいた道徳教育の充実に努め、豊かな人間性の育成に努める。 (評価点 3.4)	4	35	
	3	65	
	2	0	
	1	0	
②児童会や生徒会活動を活性化し、幼児児童生徒同士の交流の機会を積極的に図ることにより、互いに認め合い協力する態度やコミュニケーション力の向上を図る。 (評価点 3.3)	4	33	
	3	61	
	2	5	
	1	0	
③いじめ防止基本方針に沿った対応や定期的な生活アンケート等の実施により、家庭や関係機関と連携しながら、いじめやSNSトラブル等の課題解決に努める。 (評価点 3.4)	4	44	
	3	56	
	2	0	
	1	0	
④一人一人の特性や興味関心に応じた読書活動を進め、新聞を活用した教育活動を推進することにより広い視野と豊かな感性を育てる。 (評価点 3.1)	4	17	・現在校内で取り組まれている読書推進に向けての活動や、新聞活用に関する取り組みを共有する。 ・他校の取り組みを参考に読書活動の充実を図る。
	3	81	
	2	2	
	1	0	
<b>(3)関係機関や地域・保護者との連携強化</b>			
①PTA総会や各部保護者会の出席率を高め、ニーズに応じた保護者研修会等を実施することにより、教育方針の周知・理解と連携に努める。 (評価点 3.2)	4	24	
	3	71	
	2	5	
	1	0	
②学校ホームページ等を通じて情報の発信に努め、学校教育の理解・啓発に努める。 (評価点 3.4)	4	41	
	3	57	
	2	2	
	1	0	
③居住地校や近隣の学校等との交流及び共同学習を進め、幼児児童生徒間の豊かな交流を図ることにより社会性やコミュニケーション力の向上に努める。 (評価点 3.4)	4	40	
	3	60	
	2	0	
	1	0	
④自治会等地域との交流や清掃活動等を通して、学校教育に関する理解・啓発を図るとともに、地域に開かれた学校づくりを推進する。 (評価点 3.1)	4	22	・今年度はキャリア支援部が企画した中小企業への学校説明会を実施した。 ・感染症対策のため、地域との交流を制限しているが、今後は地域との連携を図り、地域のニーズに応じた活動を展開する中で、児童生徒の主体的な計画や行動を促したい。
	3	69	
	2	10	
	1	0	
<b>(4)教職員の専門性および指導力の向上</b>			
①校内研修計画に基づいた研究授業、授業研究を実施し、授業改善及び指導力向上に努める。 (評価点 3.3)	4	38	
	3	57	
	2	5	
	1	0	
②教育課程検討委員会や教科等部会を中心に、全職員でカリキュラムマネジメントによる一貫性、系統性のある教育課程編成及び改善に努める。 (評価点 3.3)	4	34	
	3	59	
	2	7	
	1	0	
③手話講習会等の外部講師を招聘した研修会を実施し、聴覚障害教育に関する専門性の維持継承に努める。 (評価点 3.5)	4	50	
	3	50	
	2	0	
	1	0	
④センター研修や九職研等各種研修会に積極的に参加し、特別支援教育に関する専門性や指導力向上を図る。 (評価点 3.3)	4	35	
	3	64	
	2	2	
	1	0	

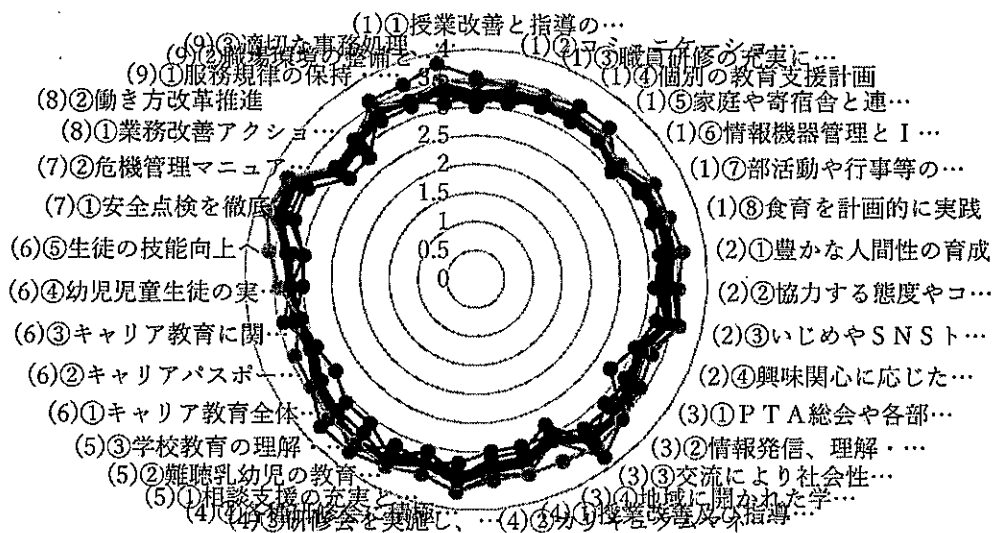
目標達成のための主な取組	点数		今後に向けての課題
		後期	
<b>(5)特別支援教育のセンター的機能の充実</b>			
①各地区の特別支援学校コーディネーター連絡会及び特別支援教育連絡協議会に積極的に参加し、聴覚障害幼児児童生徒の相談支援の充実とセンター的機能の役割を果たす。 (評価点 3.5)	4	51	
	3	49	
	2	0	
	1	0	
②医療、福祉、行政等関係機関とのネットワークを構築し、積極的に連携しながら難聴乳幼児の教育相談や支援を推進する。 (評価点 3.5)	4	54	
	3	44	
	2	2	
	1	0	
③幼・保・小中高等学校等の職員に対する研修会並びに研修協力に取り組み、学校教育の理解・啓発や特別支援教育の充実に努める。 (評価点 3.4)	4	48	
	3	48	
	2	4	
	1	0	
<b>(6)キャリア教育の充実</b>			
①幼児児童生徒の実態やキャリア発達段階に応じたキャリア教育全体計画の見直しに全職員で取り組む。 (評価点 3.3)	4	34	
	3	61	
	2	5	
	1	0	
②キャリアパスポートを効果的に活用し、キャリア発達に関する児童生徒の主体的な取組と進路実現を図る。 (評価点 3.1)	4	20	・今年度キャリア教育全体計画の改訂を行っている。次年度はそれを基にした各部でのキャリアパスポートの効果的な活用の具体を検討する必要がある。
	3	71	
	2	9	
	1	0	
③全学部におけるキャリア教育に関連した教科等の実践や評価による教育課程編成や、改善に努める。 (評価点 3.2)	4	23	
	3	71	
	2	5	
	1	0	
④学校全体及び各部の進路指導計画を見直し、キャリア教育全体計画と関連させながら幼児児童生徒の実態やニーズに応じた指導を推進する。 (評価点 3.2)	4	23	
	3	75	
	2	2	
	1	0	
⑤職業科として身に付けさせたい資質・能力を明らかにし、各学科やコースごとに修了に必要な技能要件等を設定することにより、生徒の技能向上への意欲と社会人としての資質を高める。 (評価点 3.3)	4	33	
	3	61	
	2	6	
	1	0	
<b>(7)施設・設備の整備と教育環境の充実</b>			
①日常の点検に加えて各月の安全点検を徹底し、安心安全な教育環境整備に努める。 (評価点 3.6)	4	61	
	3	39	
	2	0	
	1	0	
②事故や災害防止に向けた訓練を実施し、外部専門家による指導助言を受けながら危機管理マニュアルの見直しや整備をすすめ、事件・事故のない学校づくりに努める。 (評価点 3.6)	4	55	
	3	45	
	2	0	
	1	0	
<b>(8)働き方改革の推進</b>			
①業務改善アクションプランの方針に沿って学校が取り組むべき課題を明らかにし、業務の効率化を徹底する。 (評価点 3.0)	4	11	・月80時間の超過勤務者は0である。 ・月45時間超過勤務者については業務の分担や削減などを検討する。
	3	80	
	2	9	
	1	0	
②プラス1推進運動や安全衛生委員会の取組を中心にした働き方改革を推進し、風通しの良い職場づくりに努める。 (評価点 3.1)	4	14	・今年度安全衛生委員会では、業務の間に行える肩こり軽減の体操の提案や職員間の親睦も目的とした職員体育を実施した。 ・プラス1推進運動については、ノー残業デー、ノー会議デーの設定、会議の削減、ポータルの活用を行ってきた。職員が
	3	80	
	2	5	
	1	0	
<b>(9)コンプライアンスの徹底</b>			
①服務規律強化月間の取組を中心に、服務規律の保持・徹底に努める。 (評価点 3.4)	4	45	
	3	50	
	2	5	
	1	0	
②安全衛生委員会を中心に職場環境の整備と教職員の心身の健康増進に努める。 (評価点 3.3)	4	33	
	3	65	
	2	2	
	1	0	
③適切な事務処理に努め、校務全般の透明性の確保を徹底する。 (評価点 3.4)	4	44	
	3	56	
	2	0	
	1	0	

# 本校全



# 総括

● 全校平均 ● 幼稚部 ● 小学部 ● 中学部 ● 高等部 ● 分教室



令和4年度 長崎県立ろう学校 学校評価 集計表( 幼稚部 )

学校教育目標	○基本的な人権を尊重し、幼児児童生徒の特性や発達段階、教育的ニーズに応じて幼稚部から 高等部まで一貫した教育を行うことにより、健康で明るく心豊かな人間を育成する。 ○聴覚障害による学習または生活上の困難を改善克服することにより、生きる力を高め自立 し積極的に社会参加できる力を培う。		
学校経営目標	①本校と佐世保分教室が目標を共有し、保護者及び寄宿舎との連携を深め、幼稚部から高等部専攻科まで一貫した教育を推進することにより、確かな学力とコミュニケーション力を基礎に、生きる力を育成する。 ②一人一人の個性を伸ばし、豊かな人間性の育成に努め、明るく元気な学校づくりを推進する。 ③関係機関や地域と密に連携し、社会に開かれ信頼される学校づくりに努める。 ④特別支援教育及び聴覚障害教育における教職員の専門性及び指導力の向上に努める。 ⑤本校、佐世保分教室が連携し、全体的な特別支援教育のセンター的機能の充実を図る。 ⑥個々の幼児児童生徒のキャリア発達を支援し、ニーズに応じた進路指導及び進路実現を図り、自立と社会参加を目指す。 ⑦施設・設備の整備を進め、幼児児童生徒及び職員の安心安全な教育環境の充実を図る。 ⑧業務改善アクションプランに基づき会議や行事の精選及び業務分担等の適正化を図り、働き方改革を推進する。 ⑨コンプライアンスを徹底し不祥事を根絶することにより、働きやすく風通しの良い職場環境づくりに努める。		
学部努力目標	①聴覚活用の力を最大限に伸ばすとともに、幼児一人一人に応じたコミュニケーション手段を積極的に使いながら、生活言語の習得・拡充を図り、直接的・具体的な体験を通して豊かな感性と心身の調和的発達を促し、人間形成の基礎を培う。 ②一人一人の個性を伸ばし、明るく元気な学校づくりを推進する。 ③保護者や関係機関との連携により、聴覚障害乳・幼児の理解を深め、効果的に教育活動を展開する。 ④授業研究や専門性の研修を行い、個々の教師の指導力の向上と教職員間の共通理解を図る。 ⑤乳・幼児を中心とした早期からの教育相談・支援機能の充実を図り、聴覚障害教育のセンター的機能の役割を果たす。 ⑥安全点検や校内美化活動を行い、施設設備の整備と教育環境の充実を図る。 ⑦働きやすい職場環境づくりに努める。		
4：十分達成している    3：おおむね達成している    2：どちらかという達成されていない    1：ほとんど達成されていない			
目標達成のための主な取組	点数	評価 %	今後に向けての課題
<b>(1) 確かな学力と生きる力の育成</b>			
①校内研修及び教科等部会を中心に、自ら学ぶ力を育むための授業改善と指導の充実に努める。 ( 評価点                    3.0 )	4	17	今年度幼稚部は校内研究で研究授業を行わなかった。教師間の指導に関する情報共有はできているものの、お互いに授業を見合うこともできにくいため、次年度は校内研究と絡めて授業改善と指導の充実に努めたい。
	3	67	
	2	17	
	1	0	
②聴覚活用の力を最大限に伸ばし、言語力、コミュニケーション力を高め、確かな日本語の習得と学力向上を目指す。 ( 評価点                    3.3 )	4	33	
	3	67	
	2	0	
	1	0	
③自立活動を中心に聴覚障害による学習及び生活上の困難を改善・克服するための組織的な指導、支援の実践と職員研修の充実による専門性向上を図る。 ( 評価点                    3.2 )	4	33	
	3	50	
	2	17	
	1	0	
④個別の教育支援計画及び個別の指導計画に基づき、家庭や関係機関と連携し個々の教育的ニーズに応じた指導・支援を推進する。 ( 評価点                    3.3 )	4	33	
	3	67	
	2	0	
	1	0	
⑤家庭や寄宿舎と連携し、幼児児童生徒の基本的な生活習慣及び学習習慣の確立を図る。 ( 評価点                    3.2 )	4	17	
	3	83	
	2	0	
	1	0	
⑥情報機器管理や整備の充実を図り、授業や家庭学習におけるICT機器を活用した個別最適な学びや効果的な指導内容・方法の充実に努める。 ( 評価点                    3.0 )	4	0	幼稚部においては、実体験や実物や写真などを介しての言葉の獲得が求められ、タブレット等は写真や動画を撮って振り返りに使用することが多い。幼児期の発達から考えてもICT機器の活用を重視してはいない。
	3	100	
	2	0	
	1	0	
⑦部活動や行事等の取組により幼児児童生徒の体力向上に努め、スポーツに親しみ主体的に取り組む態度や習慣を育成する。 ( 評価点                    3.3 )	4	33	
	3	67	
	2	0	
	1	0	
⑧食育を計画的に実践し、食への関心及び心身の成長や健康の保持・増進への意識を高める。 ( 評価点                    3.5 )	4	50	
	3	50	
	2	0	
	1	0	

目標達成のための主な取組	点数		今後に向けての課題
	前期	後期	
<b>(2)個性の伸長と豊かな人間性の育成および明るく元気な学校づくり</b>			
①幼児児童生徒の基本的人権を尊重し、年間計画に沿った人権教育を推進するとともに、全体計画に基づいた道徳教育の充実へ努め、豊かな人間性の育成に努める。 (評価点 3.2)	4	17	
	3	83	
	2	0	
	1	0	
②児童会や生徒会活動を活性化し、幼児児童生徒同士の交流の機会を積極的に図ることにより、互いに認め合い協力する態度やコミュニケーション力の向上を図る。 (評価点 3.2)	4	17	
	3	83	
	2	0	
	1	0	
③いじめ防止基本方針に沿った対応や定期的な生活アンケート等の実施により、家庭や関係機関と連携しながら、いじめやSNSトラブル等の課題解決に努める。 (評価点 3.2)	4	17	
	3	83	
	2	0	
	1	0	
④一人一人の特性や興味関心に応じた読書活動を進め、新聞を活用した教育活動を推進することにより広い視野と豊かな感性を育てる。 (評価点 3.0)	4	0	幼児の発達段階や興味関心をもとに絵本の読み聞かせなどは取り入れている。
	3	100	
	2	0	
	1	0	
<b>(3)関係機関や地域、保護者との連携強化</b>			
①PTA総会や各部保護者会の出席率を高め、ニーズに応じた保護者研修会等を実施することにより、教育方針の周知・理解と連携に努める。 (評価点 2.8)	4	0	働く保護者が多く、PTA行事等への参加は少ない現状である。学部行事への出席率は高く、その都度担任との面談や情報共有はできている。幼稚部保護者研修は2学期に実施した。今後もニーズに応じた研修を計画していきたい。
	3	83	
	2	17	
	1	0	
②学校ホームページ等を通じて情報の発信に努め、学校教育の理解・啓発に努める。 (評価点 3.5)	4	50	
	3	50	
	2	0	
	1	0	
③居住地校や近隣の学校等との交流及び共同学習を進め、幼児児童生徒同士の豊かな交流を図ることにより社会性やコミュニケーション力の向上に努める。 (評価点 3.2)	4	17	
	3	83	
	2	0	
	1	0	
④自治会等地域との交流や清掃活動等を通して、学校教育に関する理解・啓発を図るとともに、地域に開かれた学校づくりを推進する。 (評価点 3.0)	4	0	文化祭などもまだ人数制限をしており、従来の交流はできていないが、校外学習等では地域の果樹園でみかん狩りを行うことができた。
	3	100	
	2	0	
	1	0	
<b>(4)教職員の専門性および指導力の向上</b>			
①校内研修計画に基づいた研究授業、授業研究を実施し、授業改善及び指導力向上に努める。 (評価点 3.0)	4	17	研究授業は今年度は実施できなかった。次年度は校内研究を進めながら授業改善に努めていきたい。
	3	67	
	2	17	
	1	0	
②教育課程検討委員会や教科等部会を中心に、全職員でカリキュラムマネジメントによる一貫性、系統性のある教育課程編成及び改善に努める。 (評価点 3.0)	4	17	教務部を中心に教育課程検討を行った。
	3	67	
	2	17	
	1	0	
③手話講習会等の外部講師を招聘した研修会を実施し、聴覚障害教育に関する専門性の維持継承に努める。 (評価点 3.2)	4	17	
	3	83	
	2	0	
	1	0	
④センター研修や九職研等各種研修会に積極的に参加し、特別支援教育に関する専門性や指導力向上を図る。 (評価点 3.3)	4	33	
	3	67	
	2	0	
	1	0	

目標達成のための主な取組	点数		今後に向けての課題
		後期	
<b>(5)特別支援教育のセンター的機能の充実</b>			
①各地区の特別支援学校コーディネーター連絡会及び特別支援教育連絡協議会に積極的に参加し、聴覚障害幼児児童生徒の相談支援の充実とセンター的機能の役割を果たす。 (評価点 3.2)	4	17	
	3	83	
	2	0	
	1	0	
②医療、福祉、行政等関係機関とのネットワークを構築し、積極的に連携しながら難聴乳幼児の教育相談や支援を推進する。 (評価点 3.7)	4	67	
	3	33	
	2	0	
	1	0	
③幼・保・小中高等学校等の職員に対する研修会並びに研修協力に取り組み、学校教育の理解・啓発や特別支援教育の充実に努める。 (評価点 3.3)	4	33	
	3	67	
	2	0	
	1	0	
<b>(6)キャリア教育の充実</b>			
①幼児児童生徒の実態やキャリア発達段階に応じたキャリア教育全体計画の見直しに全職員で取り組む。 (評価点 3.3)	4	33	
	3	67	
	2	0	
	1	0	
②キャリアパスポートを効果的に活用し、キャリア発達に関する児童生徒の主体的な取組と進路実現を図る。 (評価点 3.0)	4	0	幼稚部段階では、幼児の主体的なキャリア発達に関する取り組みは難しいと感じるが、就学に関する保護者からの相談や情報提供などはその都度行っている。
	3	100	
	2	0	
	1	0	
③全学部におけるキャリア教育に関連した教科等の実践や評価による教育課程編成や、改善に努める。 (評価点 3.2)	4	17	
	3	83	
	2	0	
	1	0	
④学校全体及び各部の進路指導計画を見直し、キャリア教育全体計画と関連させながら幼児児童生徒の実態やニーズに応じた指導を推進する。 (評価点 3.0)	4	0	キャリア教育に取り組む教育活動において、キャリア教育全体計画から目標や身につけさせたい力を全職員で確認した。今後もキャリア発達の視点を念頭に指導を行っていきたい。
	3	100	
	2	0	
	1	0	
⑤職業科として身に付けさせたい資質・能力を明らかにし、各学科やコースごとに修了に必要な技能要件等を設定することにより、生徒の技能向上への意欲と社会人としての資質を高める。 (評価点 3.0)	4	0	高等部では、長ろう検定などを実施し、生徒の意欲や技能向上に努めている。
	3	100	
	2	0	
	1	0	
<b>(7)施設・設備の整備と教育環境の充実</b>			
①日常の点検に加えて各月の安全点検を徹底し、安心安全な教育環境整備に努める。 (評価点 3.3)	4	33	
	3	67	
	2	0	
	1	0	
②事故や災害防止に向けた訓練を実施し、外部専門家による指導助言を受けながら危機管理マニュアルの見直しや整備をすすめ、事件・事故のない学校づくりに努める。 (評価点 3.3)	4	33	
	3	67	
	2	0	
	1	0	
<b>(8)働き方改革の推進</b>			
①業務改善アクションプランの方針に沿って学校が取り組むべき課題を明らかにし、業務の効率化を徹底する。 (評価点 2.8)	4	0	業務の効率化については、なかなか取り組めていない。多忙感は否めない。
	3	83	
	2	17	
	1	0	
②プラス1推進運動や安全衛生委員会の取組を中心にした働き方改革を推進し、風通しの良い職場づくりに努める。 (評価点 2.8)	4	0	安全衛生委員会の取組で職員体育を実施し、親睦を深められたのは良かった。ただ、働き方改革については、実感を感じられていない。
	3	83	
	2	17	
	1	0	
<b>(9)コンプライアンスの徹底</b>			
①服務規律強化月間の取組を中心に、服務規律の保持・徹底に努める。 (評価点 3.3)	4	33	
	3	67	
	2	0	
	1	0	
②安全衛生委員会を中心に職場環境の整備と教職員の心身の健康増進に努める。 (評価点 3.3)	4	33	
	3	67	
	2	0	
	1	0	
③適切な事務処理に努め、校務全般の透明性の確保を徹底する。 (評価点 3.3)	4	33	
	3	67	
	2	0	
	1	0	



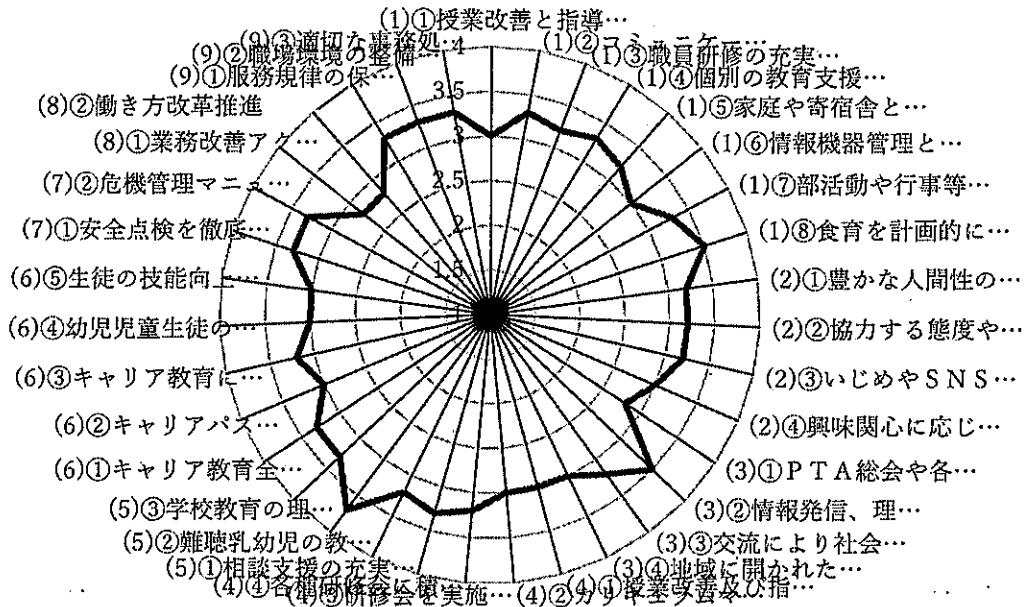
( 幼 稚 ) 部

評価の欄に、下記の4~1を基準にして、あてはまる部分の欄に○を付けてください。

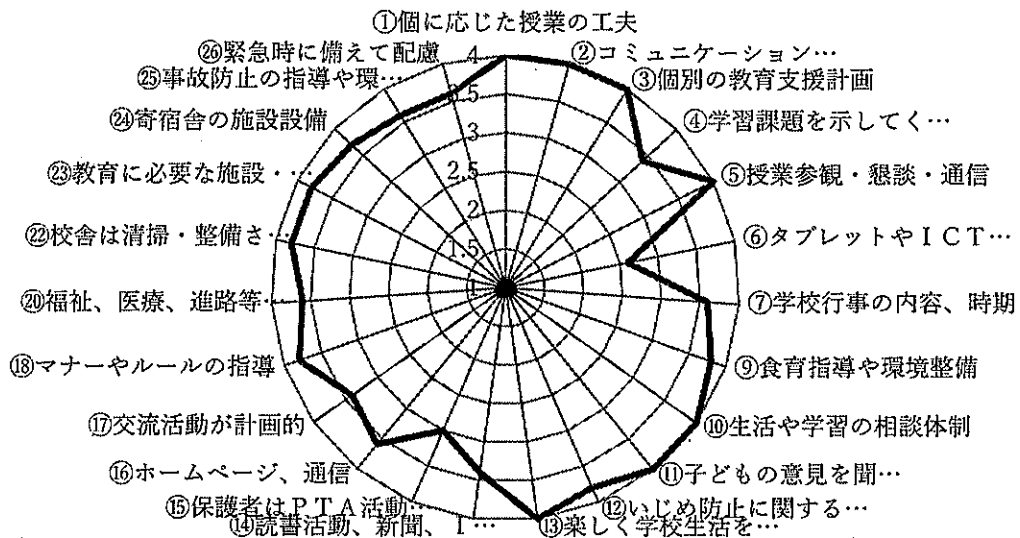
4:良くあてはまる 3:ややあてはまる 2あまりあてはまらない 1:まったくあてはまらない

具体的評価内容		評 価 %				評価	到達度(十分達成◎、 概ね達成○課題あり△)
		4	3	2	1		
<b>確かな学力と生きる力の育成</b>							
1	◇個に応じた分かりやすい授業の工夫がなされている。	100%				4.0	◎
2	◇個に応じた手段で、コミュニケーションの力を高めるための指導がなされている。	100%				4.0	◎
3	◇個別の教育支援計画の支援目標は、保護者や子どものニーズにあっている。	100%				4.0	◎
4	◇子どもが家庭や寄宿舎で取り組む学習課題を示してくれる。	60%	20%	20%		3.4	○
5	◇授業参観・学級懇談・通信などを通して、子どもの様子(学習・生活・健康等)を知らせてくれる。	100%				4.0	◎
6	◇タブレットやICT機器を活用した授業推進がなされている。	20%	40%	20%	20%	2.6	△
7	◇学校行事は、子どもの実態に応じた内容で、時期は適切である。	60%	40%			3.6	○
8	◇寄宿舎は計画的で活気がある活動をしている。 (舎生保護者の方のみ記入)						○
9	◇健康・安全や食事マナーを考慮し、子どもに応じた食育指導や環境整備がなされている。	80%	20%			3.8	○
<b>個性の伸長と豊かな人間性の育成および明るく元気な学校づくり</b>							
10	◇生活や学習について、親身になって相談にのってくれる体制ができて いる。	100%				4.0	◎
11	◇教育活動全般において、子どもの意見を聞き、よく理解してくれる。	100%				4.0	◎
12	◇いじめ防止に関する適切な取組がなされている。	80%	20%			3.8	○
13	◇子どもは楽しく学校生活を送っている。	100%				4.0	◎
14	◇読書活動や新聞、ICT機器を活用し、子どもの興味・関心を広げる工夫がな されている。	60%	20%	20%		3.4	○
<b>関係機関や地域・保護者との連携強化</b>							
15	◇保護者はPTA活動に協力的である。	20%	60%	20%		3.0	△
16	◇ホームページ、学校便りや学級通信で、教育方針や各部の目標、特 色ある教育活動など、学校の様子を伝えてくれる。	60%	40%			3.6	○
17	◇近隣の学校との交流活動が計画的に行われている。	40%	60%			3.4	○
<b>キャリア教育の充実</b>							
18	◇社会生活に必要なマナーやルールなどについて、子どもに応じて指導が なされている。	80%	20%			3.8	○
19	◇寄宿舎では年齢に応じた社会生活(挨拶や服装、社会のルール、マ ナー等)を身につけるような指導がなされている。(舎生保護者の方のみ						
20	◇福祉、医療、進路等に関する情報提供がなされている。	60%	40%			3.6	○
21	◇高等部は、生徒の技能向上への意欲と、社会人としての資質を高める ための指導がなされている。(高等部保護者の方のみ記入)						
<b>施設・設備の整備と教育環境の充実</b>							
22	◇校舎はよく清掃・整備されている。	80%	20%			3.8	○
23	◇教育に必要な施設・設備が整っている。	80%	20%			3.8	○
24	◇寄宿舎の施設設備は、安全・健康に配慮されている。(舎生保護者の方 のみ記入)	67%	33%			3.7	○
25	◇事故防止のための指導や環境整備がなされている。	60%	40%			3.6	○
26	◇災害などの緊急時に備えて適切な配慮がなされている。	60%	40%			3.6	○
<p>「6 タブレットやICT機器を活用した授業推進がなされている。」「15 保護者はPTA活動に協力的である。」で評価の低さが見られました。6については、幼稚部の時期は、実体験や実物での理解が主であり、タブレット等は振り返りをする際に撮影した写真や動画を見る程度にとどまっています。今後も、幼稚部段階では、実体験を通して十分に言葉を育てていきたいと思っています。15については、今年度は従来のPTA活動ができていますので、幼稚部保護者にも無理のない程度で参加を促していきたいと思ひます。</p>							

## 幼稚部



## 幼稚部保護者



令和4年度 長崎県立ろう学校 学校評価 集計表(小学部)

学校教育目標	○基本的な人権を尊重し、幼児児童生徒の特性や発達段階、教育的ニーズに応じて幼稚園から高等部まで一貫した教育を行うことにより、健康で明るく心豊かな人間を育成する。 ○聴覚障害による学習または生活上の困難を改善克服することにより、生きる力を高め自立し積極的に社会参加できる力を培う。		
学校経営目標	①本校と佐世保分教室が目標を共有し、保護者及び寄宿舎との連携を深め、幼稚園から高等部専攻科まで一貫した教育を推進することにより、確かな学力とコミュニケーション力を基礎に、生きる力を育成する。 ②一人一人の個性を伸ばし、豊かな人間性の育成に努め、明るく元気な学校づくりを推進する。 ③関係機関や地域と密に連携し、社会に開かれ信頼される学校づくりに努める。 ④特別支援教育及び聴覚障害教育における教職員の専門性及び指導力の向上に努める。 ⑤本校、佐世保分教室が連携し、全体的な特別支援教育のセンター的機能の充実を図る。 ⑥個々の幼児児童生徒のキャリア発達を支援し、ニーズに応じた進路指導及び進路実現を図り、自立と社会参加を目指す。 ⑦施設・設備の整備を進め、幼児児童生徒及び職員の安心安全な教育環境の充実を図る。 ⑧業務改善アクションプランに基づき会議や行事の精選及び業務分担等の適正化を図り、働き方改革を推進する。 ⑨コンプライアンスを徹底し不祥事を根絶することにより、働きやすく風通しの良い職場環境づくりに努める。		
学部努力目標	①一人一人の児童の実態に応じた指導の充実を図り、聴覚活用の力を最大限に伸ばし、確かな日本語の習得と学力向上を目指すとともに、コミュニケーション力を高め、生きる力の基礎を培う。 ②人権教育や道徳教育を推進し、一人一人の個性の伸長と豊かな人間性の育成に努める。 ③保護者や関係機関との連携により、聴覚障害児童の理解を深め、効果的・効率的に教育活動を展開する。 ④授業の研究や専門性の研修を行い、個々の教師の指導力と教職員間の協働体制を高める。 ⑤児童を中心とした教育相談・支援機能の充実を図り、聴覚障害教育のセンター的機能の役割を果たす。 ⑥個々の児童のキャリア発達を支援し、ニーズに応じた進路指導を行う。		
4：十分達成している 3：おおむね達成している 2：どちらかという達成されていない 1：ほとんど達成されていない			
目標達成のための主な取組	点数	評価 %	今後に向けての課題
<b>(1) 確かな学力と生きる力の育成</b>			
①校内研修及び教科等部会を中心に、自ら学ぶ力を育むための授業改善と指導の充実を図る。  (評価点 3.5)	4	45	
	3	55	
	2	0	
	1	0	
②聴覚活用の力を最大限に伸ばし、言語力、コミュニケーション力を高め、確かな日本語の習得と学力向上を目指す。  (評価点 3.4)	4	42	
	3	58	
	2	0	
③自立活動を中心に聴覚障害による学習及び生活上の困難を改善・克服するための組織的な指導、支援の実践と職員研修の充実による専門性向上を図る。  (評価点 3.4)	4	45	
	3	45	
	2	9	
	1	0	
④個別の教育支援計画及び個別の指導計画に基づき、家庭や関係機関と連携し個々の教育的ニーズに応じた指導・支援を推進する。  (評価点 3.5)	4	55	
	3	45	
	2	0	
	1	0	
⑤家庭や寄宿舎と連携し、幼児児童生徒の基本的な生活習慣及び学習習慣の確立を図る。  (評価点 3.5)	4	50	
	3	50	
	2	0	
	1	0	
⑥情報機器管理や整備の充実を図り、授業や家庭学習におけるICT機器を活用した個別最適な学びや効果的な指導内容・方法の充実に努める。  (評価点 3.1)	4	18	ICT機器の活用は、職員研修等も行い、授業に生かす場面も増えたが、まだ十分活用できていないと感じている職員が多いと思われる。研修したことを実際に使って活用していきたい。
	3	73	
	2	9	
	1	0	
⑦部活動や行事等の取組により幼児児童生徒の体力向上に努め、スポーツに親しみ主体的に取り組む態度や習慣を育成する。  (評価点 3.3)	4	25	
	3	75	
	2	0	
	1	0	
⑧食育を計画的に実践し、食への関心及び心身の成長や健康の保持・増進への意識を高める。  (評価点 3.5)	4	50	
	3	50	
	2	0	
	1	0	

目標達成のための主な取組	点数		今後に向けての課題
		後期	
<b>(2)個性の伸長と豊かな人間性の育成および明るく元気な学校づくり</b>			
①幼児児童生徒の基本的人権を尊重し、年間計画に沿った人権教育を推進するとともに、全体計画に基づいた道徳教育の充実に努め、豊かな人間性の育成に努める。 (評価点 3.4)	4	42	
	3	58	
	2	0	
	1	0	
②児童会や生徒会活動を活性化し、幼児児童生徒同士の交流の機会を積極的に図ることにより、互いに認め合い協力する態度やコミュニケーション力の向上を図る。 (評価点 3.4)	4	42	
	3	58	
	2	0	
	1	0	
③いじめ防止基本方針に沿った対応や定期的な生活アンケート等の実施により、家庭や関係機関と連携しながら、いじめやSNSトラブル等の課題解決に努める。 (評価点 3.6)	4	58	
	3	42	
	2	0	
	1	0	
④一人一人の特性や興味関心に応じた読書活動を進め、新聞を活用した教育活動を推進することにより広い視野と豊かな感性を育てる。 (評価点 3.2)	4	22	
	3	78	
	2	0	
	1	0	
<b>(3)関係機関や地域・保護者との連携強化</b>			
①PTA総会や各部保護者会の出席率を高め、ニーズに応じた保護者研修会等を実施することにより、教育方針の周知・理解と連携に努める。 (評価点 3.3)	4	30	
	3	70	
	2	0	
	1	0	
②学校ホームページ等を通じて情報の発信に努め、学校教育の理解・啓発に努める。 (評価点 3.5)	4	55	
	3	45	
	2	0	
	1	0	
③居住地校や近隣の学校等との交流及び共同学習を進め、幼児児童生徒間の豊かな交流を図ることにより社会性やコミュニケーション力の向上に努める。 (評価点 3.8)	4	82	
	3	18	
	2	0	
	1	0	
④自治会等地域との交流や清掃活動等を通して、学校教育に関する理解・啓発を図るとともに、地域に開かれた学校づくりを推進する。 (評価点 3.1)	4	13	コロナの影響で、文化祭等の学校行事での地域の方々との交流は少ないが、社会科見学等の校外学習は通常通り実施できたので、地域の方と触れ合い、様々なことを教えていただいた。
	3	88	
	2	0	
	1	0	
<b>(4)教職員の専門性および指導力の向上</b>			
①校内研修計画に基づいた研究授業、授業研究を実施し、授業改善及び指導力向上に努める。 (評価点 3.5)	4	45	
	3	55	
	2	0	
	1	0	
②教育課程検討委員会や教科等部会を中心に、全職員でカリキュラムマネジメントによる一貫性、系統性のある教育課程編成及び改善に努める。 (評価点 3.4)	4	36	
	3	64	
	2	0	
	1	0	
③手話講習会等の外部講師を招聘した研修会を実施し、聴覚障害教育に関する専門性の維持継承に努める。 (評価点 3.7)	4	73	
	3	27	
	2	0	
	1	0	
④センター研修や九職研等各種研修会に積極的に参加し、特別支援教育に関する専門性や指導力向上を図る。 (評価点 3.5)	4	55	
	3	45	
	2	0	
	1	0	

目標達成のための主な取組	点数		今後に向けての課題
		後期	
<b>(5) 特別支援教育のセンター的機能の充実</b>			
①各地区の特別支援学校コーディネーター連絡会及び特別支援教育連絡協議会に積極的に参加し、聴覚障害幼児児童生徒の相談支援の充実とセンター的機能の役割を果たす。 ( 評価点 3.6 )	4	64	
	3	36	
	2	0	
	1	0	
②医療、福祉、行政等関係機関とのネットワークを構築し、積極的に連携しながら難聴乳幼児の教育相談や支援を推進する。 ( 評価点 3.7 )	4	73	
	3	27	
	2	0	
	1	0	
③幼・保・小中高等学校等の職員に対する研修会並びに研修協力に取り組み、学校教育の理解・啓発や特別支援教育の充実に努める。 ( 評価点 3.7 )	4	73	
	3	27	
	2	0	
	1	0	
<b>(6) キャリア教育の充実</b>			
①幼児児童生徒の実態やキャリア発達段階に応じたキャリア教育全体計画の見直しに全職員で取り組む。 ( 評価点 3.4 )	4	36	
	3	64	
	2	0	
	1	0	
②キャリアパスポートを効果的に活用し、キャリア発達に関する児童生徒の主体的な取組と進路実現を図る。 ( 評価点 3.0 )	4	9	キャリア発達に関して、「児童の主体的な」取組となると課題が残るという意見があった。今年度キャリア教育全体計画を確認したので、小学部で育てたい力を子どもたちに意識させながら指導していく必要がある。
	3	82	
	2	9	
	1	0	
③全学部におけるキャリア教育に関連した教科等の実践や評価による教育課程編成や、改善に努める。 ( 評価点 3.4 )	4	36	
	3	64	
	2	0	
	1	0	
④学校全体及び各部の進路指導計画を見直し、キャリア教育全体計画と関連させながら幼児児童生徒の実態やニーズに応じた指導を推進する。 ( 評価点 3.2 )	4	18	
	3	82	
	2	0	
	1	0	
⑤職業科として身に付けさせたい資質・能力を明らかにし、各学科やコースごとに修了に必要な技能要件等を設定することにより、生徒の技能向上への意欲と社会人としての資質を高める。 ( 評価点 3.2 )	4	27	
	3	64	
	2	9	
	1	0	
<b>(7) 施設・設備の整備と教育環境の充実</b>			
①日常の点検に加えて各月の安全点検を徹底し、安心安全な教育環境整備に努める。 ( 評価点 3.8 )	4	83	
	3	17	
	2	0	
	1	0	
②事故や災害防止に向けた訓練を実施し、外部専門家による指導助言を受けながら危機管理マニュアルの見直しや整備をすすめ、事件・事故のない学校づくりに努める。 ( 評価点 3.6 )	4	64	
	3	36	
	2	0	
	1	0	
<b>(8) 働き方改革の推進</b>			
①業務改善アクションプランの方針に沿って学校が取り組むべき課題を明らかにし、業務の効率化を徹底する。 ( 評価点 3.0 )	4	8	退校時間は早くなっているが、持ち帰りの仕事も多いと感じる。ICT機器の活用などしなければならないことも多く、業務の効率化はなかなか難しい現状である。
	3	83	
	2	8	
	1	0	
②プラス1推進運動や安全衛生委員会の取組を中心とした働き方改革を推進し、風通しの良い職場づくりに努める。 ( 評価点 3.0 )	4	8	安全衛生委員会の取組で職員体育を実施し、親睦を深められたのは良かった。ただ、働き方改革については、実感を感じられていない。
	3	83	
	2	8	
	1	0	
<b>(9) コンプライアンスの徹底</b>			
①服従規律強化月間の取組を中心に、服従規律の保持・徹底に努める。 ( 評価点 3.6 )	4	69	
	3	23	
	2	8	
	1	0	
②安全衛生委員会を中心に職場環境の整備と教職員の心身の健康増進に努める。 ( 評価点 3.6 )	4	58	
	3	42	
	2	0	
	1	0	
③適切な事務処理に努め、校務全般の透明性の確保を徹底する。 ( 評価点 3.8 )	4	75	
	3	25	
	2	0	
	1	0	

(小学)部

評価の欄に、下記の4~1を基準にして、あてはまる部分の欄に○を付けてください。

4:良くあてはまる 3:ややあてはまる 2あまりあてはまらない 1:まったくあてはまらない

具体的評価内容		評価%				評価	到達度(十分達成◎、概ね達成○課題あり△)
		4	3	2	1		
<b>確かな学力と生きる力の育成</b>							
1	◇個に応じた分かりやすい授業の工夫がなされている。	86%	14%			3.9	○
2	◇個に応じた手段で、コミュニケーションの力を高めるための指導がなされている。	79%	14%	7%		3.7	○
3	◇個別の教育支援計画の支援目標は、保護者や子どものニーズにあっている。	71%	29%			3.7	○
4	◇子どもが家庭や寄宿舎で取り組む学習課題を示してくれる。	64%	14%	21%		3.4	△
5	◇授業参観・学級懇談・通信などを通して、子どもの様子(学習・生活・健康等)を知らせてくれる。	77%	23%			3.8	○
6	◇タブレットやICT機器を活用した授業推進がなされている。	31%	54%	8%	8%	3.1	△
7	◇学校行事は、子どもの実態に応じた内容で、時期は適切である。	57%	43%			3.6	○
8	◇寄宿舎は計画的で活気がある活動をしている。 (舎生保護者の方のみ記入)	100%				4.0	◎
9	◇健康・安全や食事マナーを考慮し、子どもに応じた食育指導や環境整備がなされている。	79%	14%	7%		3.7	○
<b>個性の伸長と豊かな人間性の育成および明るく元気な学校づくり</b>							
10	◇生活や学習について、親身になって相談にのってくれる体制ができています。	71%	29%			3.7	○
11	◇教育活動全般において、子どもの意見を聞き、よく理解してくれる。	79%	14%	7%		3.7	○
12	◇いじめ防止に関する適切な取組がなされている。	79%	21%			3.8	○
13	◇子どもは楽しく学校生活を送っている。	71%	21%	7%		3.6	○
14	◇読書活動や新聞、ICT機器を活用し、子どもの興味・関心を広げる工夫がなされている。	57%	43%			3.6	○
<b>関係機関や地域・保護者との連携強化</b>							
15	◇保護者はPTA活動に協力的である。	36%	64%			3.4	○
16	◇ホームページ、学校便りや学級通信で、教育方針や各部の目標、特色ある教育活動など、学校の様子を伝えてくれる。	79%	21%			3.8	○
17	◇近隣の学校との交流活動が計画的に行われている。	71%	21%		7%	3.6	○
<b>キャリア教育の充実</b>							
18	◇社会生活に必要なマナーやルールなどについて、子どもに応じて指導がなされている。	64%	36%			3.6	○
19	◇寄宿舎では年齢に応じた社会生活(挨拶や服装、社会のルール、マナー等)を身につけるような指導がなされている。(舎生保護者の方のみ)	100%				4.0	◎
20	◇福祉、医療、進路等に関する情報提供がなされている。	57%	36%	7%		3.5	○
21	◇高等部は、生徒の技能向上への意欲と、社会人としての資質を高めるための指導がなされている。(高等部保護者の方のみ記入)	100%				4.0	◎
<b>施設・設備の整備と教育環境の充実</b>							
22	◇校舎はよく清掃・整備されている。	79%	21%			3.8	○
23	◇教育に必要な施設・設備が整っている。	86%	7%	7%		3.8	○
24	◇寄宿舎の施設設備は、安全・健康に配慮されている。(舎生保護者の方のみ記入)	100%				4.0	◎
25	◇事故防止のための指導や環境整備がなされている。	79%	14%	7%		3.7	○
26	◇災害などの緊急時に備えて適切な配慮がなされている。	71%	29%			3.7	○
<p>14 子どもが家庭や寄宿舎で取り組む学習課題を示してくれる。16 タブレットやICT機器を活用した授業推進がなされている。」で評価点2や1の方がおられました。4については、宿題に時間がかかりすぎて減らしてほしいという意見もあり、保護者との連携の必要性を感じました。宿題の内容や量が実態にあっているか、家庭での取り組みの様子などの情報交換を密にし、今後も連携しながら取り組んでいきたいと思ひます。6については、今年度は職員研修も行き、授業でタブレットを使うことも増えてきましたが、他の小学校などとはもっと進んでいるので物足りなさを感じている保護者もいらっしゃるのではないかとと思ひます。今後は、さらに活用できるよう努めていきたいと思ひます。</p> <p>「コロナ感染症対策で、マスクをしておのコミュニケーションの中では、難障の子どもたちは困難さを感じていると思ひます。いつまでも同じ対策をとり続けるのではなく、子どもたちの特性を踏まえて独自の対策をとるなどの工夫が大切なのではないかと」という貴重なご意見をいただきました。ありがとうございます。今まで子どもたち一人一人の感染対策や保護者の皆様のご協力のおかげで、学校でのコロナ感染がなかったことに感謝いたします。学校は基本的に果からの指示にしたがって保護者の皆様に情報提供し、ご協力いただいているところですが、授業中はマウスシールドを着用していますが、それでも聞きづらさ、口形の見づらさは生じているかと思ひます。子どもたちには苦勞を掛けているとは思ひますが、文字や手話で確認するなど聞きづらさを補う方法を取り入れながら、やりとりをしていきたいと思ひます。</p>							

令和4年度 長崎県立ろう学校学校評価児童生徒アンケート 4人 / 4人 回収率 100%

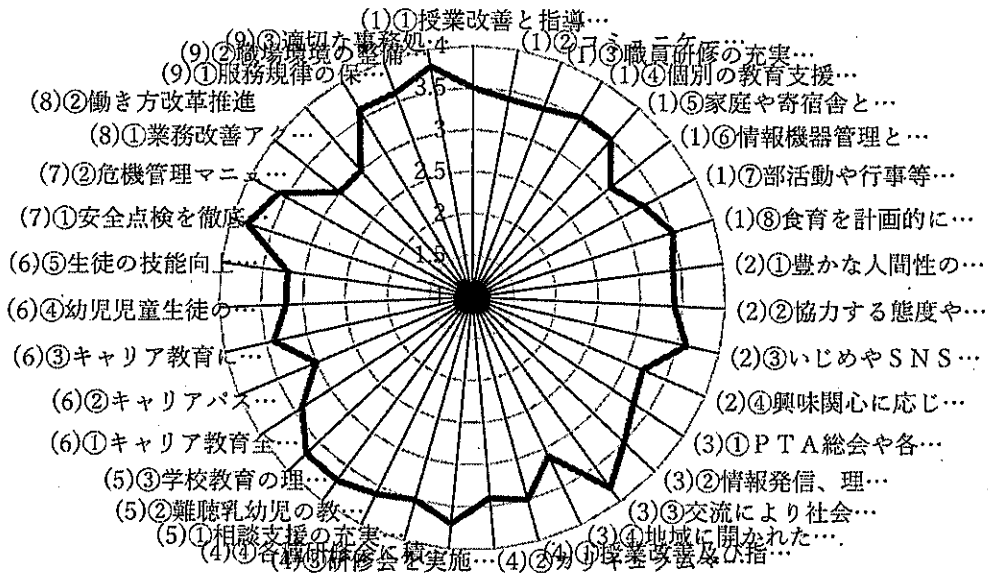
( 小学 )部

評価の欄に、下記の数字を基準にして、あてはまる部分の欄に○を付けてください。

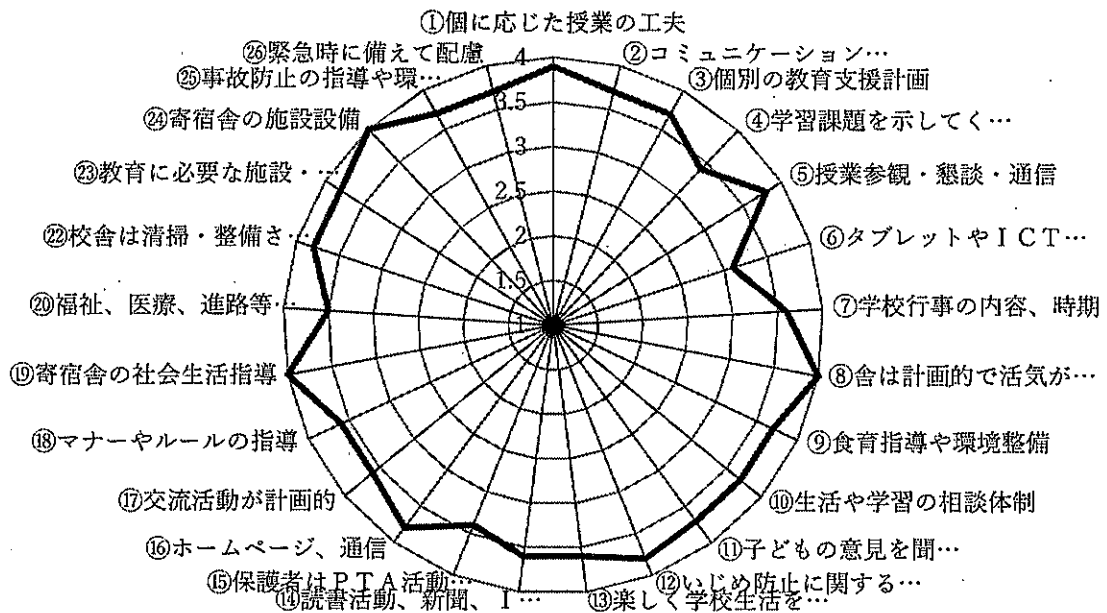
4:良くあてはまる 3:だいたいあてはまる 2:あまりあてはまらない 1:まったくあてはまらない

具体的評価内容		評価 %				評価	到達度(十分達成◎、概ね達成○、課題あり△)
		4	3	2	1		
学校について							
1	先生は、授業中に分かりやすくていねいに教えてくれる。	50%	50%			3.5	○
2	授業内容が分かり、楽しく学習している。	25%	75%			3.3	○
3	自分に合ったコミュニケーション方法で、気持ちを伝えることができる。	50%	25%	25%		3.3	○
4	先生は、私の努力すべきことを教えてくれる。	50%	50%			3.5	○
5	先生は家庭や寄宿舎での学習の仕方についてアドバイスをしてくれる。	50%	25%	25%		3.3	○
6	家や寄宿舎でも、自分から進んで学習に取り組んでいる。	50%	50%			3.5	○
7	学習に必要な設備や道具が整っている。	25%	25%	50%		2.8	△
8	文化祭や体育祭などの学校行事に、意欲的に取り組んでいる。	100%				4.0	◎
9	部活動は意欲的に参加している。(部活に参加している人のみ)						
10	舎生会活動は自分たちで考え、進んで取り組んでいる。(舎生のみ)						
11	先生は、私の良いところをほめてくれる。	25%	50%	25%		3.0	○
12	困ったときや悩んだときは、先生が相談にのってくれる。	25%	75%			3.3	○
13	先生は、児童会・生徒会で自分たちが考えたことを聞いてくれる。	50%	25%	25%		3.3	○
14	自分から進んであいさつをしている。	50%	50%			3.5	○
15	まちがったことや悪いことをしたとき、先生は丁寧に話を聞いたり指導したりしてくれる。	25%	75%			3.3	○
16	学校には仲の良い友達がいて楽しく生活している。	100%				4.0	◎
17	新聞やICT機器を使って、必要な情報を入手できる。	25%	75%			3.3	○
18	服装などの身だしなみに気をつけている。	33%	67%			3.3	○
19	進路・卒業後の生活について、先生は親身になって話してくれる。	50%	50%			3.5	○
20	将来の自分を想像しながら、目標をもって学校生活を送っている。(高等部のみ記入)						
21	先生は、病気や事故がないように気をつけてくれる。	50%	50%			3.5	○
22	校舎は、掃除が行き届き、いつもきれいである。		75%	25%		2.8	△
23	校内には、危険な場所がなく安全である。	50%	50%			3.5	○
24	宿舎の施設設備は、危険な場所がなく安全である。(舎生のみ記入)						
25	学校では交通ルールや火災・地震の時の避難の仕方を教えてくれる	100%				4.0	◎
<p>・「7 学習に必要な設備や道具が整っている。」「22 校舎は、掃除が行き届き、いつもきれいである。」が評価点2.8でした。7については、具体的にどんなものが不足しているか分らないので、機会をとらえて探っていきたいと思います。22については、廊下や階段等にごみが溜まっていることを目にすることもありますので、清掃に努めていきたいと思います。</p>							

## 小学部



## 小学部保護者





令和4年度 長崎県立ろう学校 学校評価 集計表( 中学部 )

学校教育目標	○基本的人権を尊重し、幼児児童生徒の特性や発達段階、教育的ニーズに応じて幼稚園から 高等部まで一貫した教育を行うことにより、健康で明るく心豊かな人間を育成する。 ○聴覚障害による学習または生活上の困難を改善克服することにより、生きる力を高め自立 し積極的に社会参加できる力を培う。		
学校経営目標	①本校と佐世保分教室が目標を共有し、保護者及び寄宿舎との連携を深め、幼稚園から高等部専攻科まで一貫した教育を推進することにより、確かな学力とコミュニケーション力を基礎に、生きる力を育成する。 ②一人一人の個性を伸ばし、豊かな人間性の育成に努め、明るく元気な学校づくりに推進する。 ③関係機関や地域と密に連携し、社会に開かれ信頼される学校づくりに努める。 ④特別支援教育及び聴覚障害教育における教職員の専門性及び指導力の向上に努める。 ⑤本校、佐世保分教室が連携し、全体的な特別支援教育のセンター的機能の充実を図る。 ⑥個々の幼児児童生徒のキャリア発達を支援し、ニーズに応じた進路指導及び進路実現を図り、自立と社会参加を目指す。 ⑦施設・設備の整備を進め、幼児児童生徒及び職員の安心安全な教育環境の充実を図る。 ⑧業務改善アクションプランに基づき会議や行事の精選及び業務分担等の適正化を図り、働き方改革を推進する。 ⑨コンプライアンスを徹底し不祥事を根絶することにより、働きやすく風通しの良い職場環境づくりに努める。		
学部努力目標	①言語力と学力を高めるとともに、生徒一人一人が社会自立、職業自立を目指し、主体的に自己実現を図っていく能力や態度を育てる。 ②聴覚活用を基本に生徒一人一人の実態に応じたコミュニケーション手段を活用しながら、言語力の拡充を図る。 ③保護者や関係機関との連携を深め、関係者からの意見を学部経営に生かす。 ④授業研究や専門性を高める研修を行い、指導力の向上を図る。 ⑤小・中学生を中心とした教育相談・支援機能の充実を図り、聴覚障害教育のセンター的機能の役割を果たす。 ⑥施設・設備の整備を進めると共に、教育環境の充実を図る。		
4：十分達成している    3：おおむね達成している    2：どちらかという達成されていない    1：ほとんど達成されていない			
目標達成のための主な取組	点数	評価 %	今後に向けての課題
<b>(1) 確かな学力と生きる力の育成</b>			
①校内研修及び教科等部会を中心に、自ら学ぶ力を育むための授業改善と指導の充実に努める。 ( 評価点                    3.4 )	4 3 2 1	36 64 0 0	
②聴覚活用の力を最大限に伸ばし、言語力、コミュニケーション力を高め、確かな日本語の習得と学力向上を目指す。 ( 評価点                    3.4 )	4 3 2 1	45 45 9 0	
③自立活動を中心に聴覚障害による学習及び生活上の困難を改善・克服するための組織的な指導、支援の実践と職員研修の充実による専門性向上を図る。 ( 評価点                    3.4 )	4 3 2 1	36 64 0 0	
④個別の教育支援計画及び個別の指導計画に基づき、家庭や関係機関と連携し個々の教育的ニーズに応じた指導・支援を推進する。 ( 評価点                    3.3 )	4 3 2 1	27 73 0 0	
⑤家庭や寄宿舎と連携し、幼児児童生徒の基本的な生活習慣及び学習習慣の確立を図る。 ( 評価点                    3.3 )	4 3 2 1	36 55 9 0	
⑥情報機器管理や整備の充実を図り、授業や家庭学習におけるICT機器を活用した個別最適な学びや効果的な指導内容・方法の充実に努める。 ( 評価点                    3.2 )	4 3 2 1	27 64 9 0	
⑦部活動や行事等の取組により幼児児童生徒の体力向上に努め、スポーツに親しみ主体的に取り組む態度や習慣を育成する。 ( 評価点                    3.5 )	4 3 2 1	45 55 0 0	
⑧食育を計画的に実践し、食への関心及び心身の成長や健康の保持・増進への意識を高める。 ( 評価点                    3.5 )	4 3 2 1	45 55 0 0	

目標達成のための主な取組	点数		今後に向けての課題
		後期	
<b>(2)個性の伸長と豊かな人間性の育成および明るく元気な学校づくり</b>			
①幼児児童生徒の基本的人権を尊重し、年間計画に沿った人権教育を推進するとともに、全体計画に基づいた道徳教育の充実に努め、豊かな人間性の育成に努める。 (評価点 3.6)	4	64	
	3	36	
	2	0	
	1	0	
②児童会や生徒会活動を活性化し、幼児児童生徒同士の交流の機会を積極的に図ることにより、互いに認め合い協力する態度やコミュニケーション力の向上を図る。 (評価点 3.5)	4	55	
	3	45	
	2	0	
	1	0	
③いじめ防止基本方針に沿った対応や定期的な生活アンケート等の実施により、家庭や関係機関と連携しながら、いじめやSNSトラブル等の課題解決に努める。 (評価点 3.6)	4	64	
	3	36	
	2	0	
	1	0	
④一人一人の特性や興味関心に応じた読書活動を進め、新聞を活用した教育活動を推進することにより広い視野と豊かな感性を育てる。 (評価点 3.3)	4	27	
	3	73	
	2	0	
	1	0	
<b>(3)関係機関や地域・保護者との連携強化</b>			
①PTA総会や各部保護者会の出席率を高め、ニーズに応じた保護者研修会等を実施することにより、教育方針の周知・理解と連携に努める。 (評価点 3.4)	4	36	
	3	64	
	2	0	
	1	0	
②学校ホームページ等を通じて情報の発信に努め、学校教育の理解・啓発に努める。 (評価点 3.5)	4	55	
	3	45	
	2	0	
	1	0	
③居住地校や近隣の学校等との交流及び共同学習を進め、幼児児童生徒同士の豊かな交流を図ることにより社会性やコミュニケーション力の向上に努める。 (評価点 3.6)	4	64	
	3	36	
	2	0	
	1	0	
④自治会等地域との交流や清掃活動等を通して、学校教育に関する理解・啓発を図るとともに、地域に関わられた学校づくりを推進する。 (評価点 3.5)	4	55	
	3	45	
	2	0	
	1	0	
<b>(4)教職員の専門性および指導力の向上</b>			
①校内研修計画に基づいた研究授業、授業研究を実施し、授業改善及び指導力向上に努める。 (評価点 3.5)	4	55	
	3	45	
	2	0	
	1	0	
②教育課程検討委員会や教科等部会を中心に、全職員でカリキュラムマネジメントによる一貫性、系統性のある教育課程編成及び改善に努める。 (評価点 3.5)	4	55	
	3	45	
	2	0	
	1	0	
③手話講習会等の外部講師を招聘した研修会を実施し、聴覚障害教育に関する専門性の維持継承に努める。 (評価点 3.7)	4	73	
	3	27	
	2	0	
	1	0	
④センター研修や九聴研等各種研修会に積極的に参加し、特別支援教育に関する専門性や指導力向上を図る。 (評価点 3.5)	4	55	
	3	45	
	2	0	
	1	0	

目標達成のための主な取組	点数		今後に向けての課題
		後期	
<b>(5) 特別支援教育のセンター的機能の充実</b>			
①各地区の特別支援学校コーディネーター連絡会及び特別支援教育連絡協議会に積極的に参加し、聴覚障害幼児児童生徒の相談支援の充実とセンター的機能の役割を果たす。 ( 評価点 3.6 )	4	64	
	3	36	
	2	0	
	1	0	
②医療、福祉、行政等関係機関とのネットワークを構築し、積極的に連携しながら難聴乳幼児の教育相談や支援を推進する。 ( 評価点 3.5 )	4	55	
	3	45	
	2	0	
	1	0	
③幼・保・小中高等学校等の職員に対する研修会並びに研修協力に取り組み、学校教育の理解・啓発や特別支援教育の充実に努める。 ( 評価点 3.5 )	4	55	
	3	36	
	2	9	
	1	0	
<b>(6) キャリア教育の充実</b>			
①幼児児童生徒の実態やキャリア発達段階に応じたキャリア教育全体計画の見直しに全職員で取り組む。 ( 評価点 3.4 )	4	45	
	3	45	
	2	9	
	1	0	
②キャリアパスポートを効果的に活用し、キャリア発達に関する児童生徒の主体的な取組と進路実現を図る。 ( 評価点 3.4 )	4	36	
	3	64	
	2	0	
	1	0	
③全学部におけるキャリア教育に関連した教科等の実践や評価による教育課程編成や、改善に努める。 ( 評価点 3.1 )	4	18	
	3	73	
	2	9	
	1	0	
④学校全体及び各部の進路指導計画を見直し、キャリア教育全体計画と関連させながら幼児児童生徒の実態やニーズに応じた指導を推進する。 ( 評価点 3.4 )	4	36	
	3	64	
	2	0	
	1	0	
⑤職業科として身に付けさせたい資質・能力を明らかにし、各学科やコースごとに修了に必要な技能要件等を設定することにより、生徒の技能向上への意欲と社会人としての資質を高める。 ( 評価点 3.6 )	4	60	
	3	40	
	2	0	
	1	0	
<b>(7) 施設・設備の整備と教育環境の充実</b>			
①日常の点検に加えて各月の安全点検を徹底し、安心安全な教育環境整備に努める。 ( 評価点 3.8 )	4	82	
	3	18	
	2	0	
	1	0	
②事故や災害防止に向けた訓練を実施し、外部専門家による指導助言を受けながら危機管理マニュアルの見直しや整備をすすめ、事件・事故のない学校づくりに努める。 ( 評価点 3.7 )	4	73	
	3	27	
	2	0	
	1	0	
<b>(8) 働き方改革の推進</b>			
①業務改善アクションプランの方針に沿って学校が取り組むべき課題を明らかにし、業務の効率化を徹底する。 ( 評価点 3.1 )	4	10	
	3	90	
	2	0	
	1	0	
②プラス1推進運動や安全衛生委員会の取組を中心にした働き方改革を推進し、風通しの良い職場づくりに努める。 ( 評価点 3.2 )	4	20	
	3	80	
	2	0	
	1	0	
<b>(9) コンプライアンスの徹底</b>			
①服務規律強化月間の取組を中心に、服務規律の保持・徹底に努める。 ( 評価点 3.5 )	4	55	
	3	45	
	2	0	
	1	0	
②安全衛生委員会を中心に職場環境の整備と教職員の心身の健康増進に努める。 ( 評価点 3.3 )	4	38	
	3	55	
	2	9	
	1	0	
③適切な事務処理に努め、校務全般の透明性の確保を徹底する。 ( 評価点 3.5 )	4	55	
	3	45	
	2	0	
	1	0	

令和4年度 長崎県立ろう学校学校評価保護者アンケート 5人/6人 回収率 83%

( 中 学 ) 部

評価の欄に、下記の4~1を基準にして、あてはまる部分の欄に○を付けてください。

4:良くあてはまる 3:ややあてはまる 2あまりあてはまらない 1:まったくあてはまらない

具体的評価内容		評 価 %				評価	到達度(十分達成◎、概ね達成○課題あり△)
		4	3	2	1		
<b>確かな学力と生きる力の育成</b>							
1	◇個に応じた分かりやすい授業の工夫がなされている。	100%				4.0	◎
2	◇個に応じた手段で、コミュニケーションの力を高めるための指導がなされている。	100%				4.0	◎
3	◇個別の教育支援計画の支援目標は、保護者や子どものニーズにあっている。	100%				4.0	◎
4	◇子どもが家庭や寄宿舎で取り組む学習課題を示してくれる。	100%				4.0	◎
5	◇授業参観・学級懇談・通信などを通して、子どもの様子(学習・生活・健康等)を知らせてくれる。	100%				4.0	◎
6	◇タブレットやICT機器を活用した授業推進がなされている。	80%		20%		3.6	○
7	◇学校行事は、子どもの実態に応じた内容で、時期は適切である。	80%	20%			3.8	◎
8	◇寄宿舎は計画的で活気がある活動をしている。 (舎生保護者の方のみ記入)	67%	33%			3.7	◎
9	◇健康・安全や食事マナーを考慮し、子どもに応じた食育指導や環境整備がなされている。	80%	20%			3.8	◎
<b>個性の伸長と豊かな人間性の育成および明るく元気な学校づくり</b>							
10	◇生活や学習について、親身になって相談にのってくれる体制ができて	100%				4.0	◎
11	◇教育活動全般において、子どもの意見を聞き、よく理解してくれる。	100%				4.0	◎
12	◇いじめ防止に関する適切な取組がなされている。	80%	20%			3.8	◎
13	◇子どもは楽しく学校生活を送っている。	80%	20%			3.8	◎
14	◇読書活動や新聞、ICT機器を活用し、子どもの興味・関心を広げる工夫がな	60%	40%			3.6	○
<b>関係機関や地域・保護者との連携強化</b>							
15	◇保護者はPTA活動に協力的である。	60%	40%			3.6	○
16	◇ホームページ、学校便りや学級通信で、教育方針や各部の目標、特	100%				4.0	◎
17	◇近隣の学校との交流活動が計画的に行われている。	60%	40%			3.6	○
<b>キャリア教育の充実</b>							
18	◇社会生活に必要なマナーやルールなどについて、子どもに応じて指導が	80%	20%			3.8	◎
19	◇寄宿舎では年齢に応じた社会生活(挨拶や服装、社会のルール、マ	67%	33%			3.7	◎
20	◇福祉、医療、進路等に関する情報提供がなされている。	20%	80%			3.2	○
21	◇高等部は、生徒の技能向上への意欲と、社会人としての資質を高める						
<b>施設・設備の整備と教育環境の充実</b>							
22	◇校舎はよく清掃・整備されている。	80%	20%			3.8	◎
23	◇教育に必要な施設・設備が整っている。	60%	40%			3.6	○
24	◇寄宿舎の施設設備は、安全・健康に配慮されている。(舎生保護者の方	100%				4.0	◎
25	◇事故防止のための指導や環境整備がなされている。	60%	40%			3.6	○
26	◇災害などの緊急時に備えて適切な配慮がなされている。	60%	40%			3.6	○
※タブレットやICT機器を活用した授業は、Teamsを使った遠隔授業やデジタル教科書など、今年度から様々な取り組みを始めている。さらに研修を深めICT機器の活用に力を入れていきたい。							

令和4年度 長崎県立ろう学校学校評価児童生徒アンケート 6人 / 7人 回収率 86%

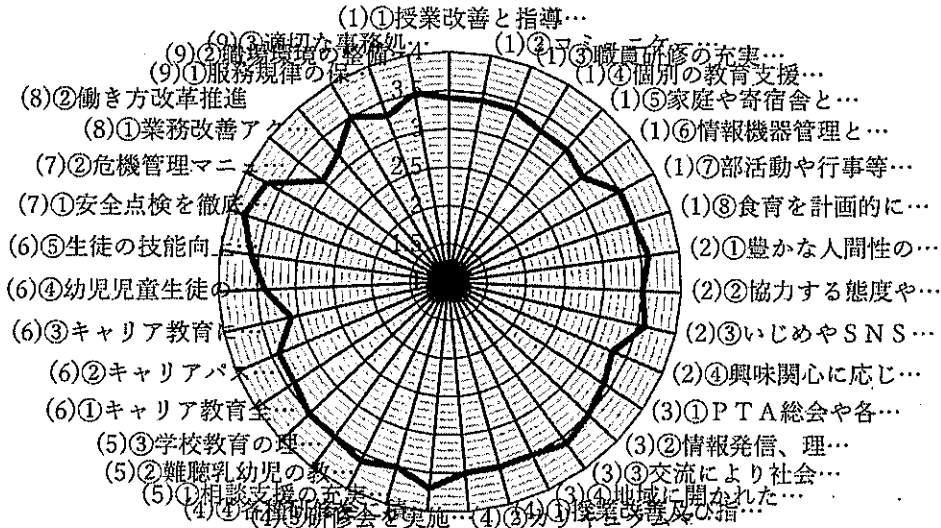
( 中学 )部

評価の欄に、下記の数字を基準にして、あてはまる部分の欄に○を付けてください。

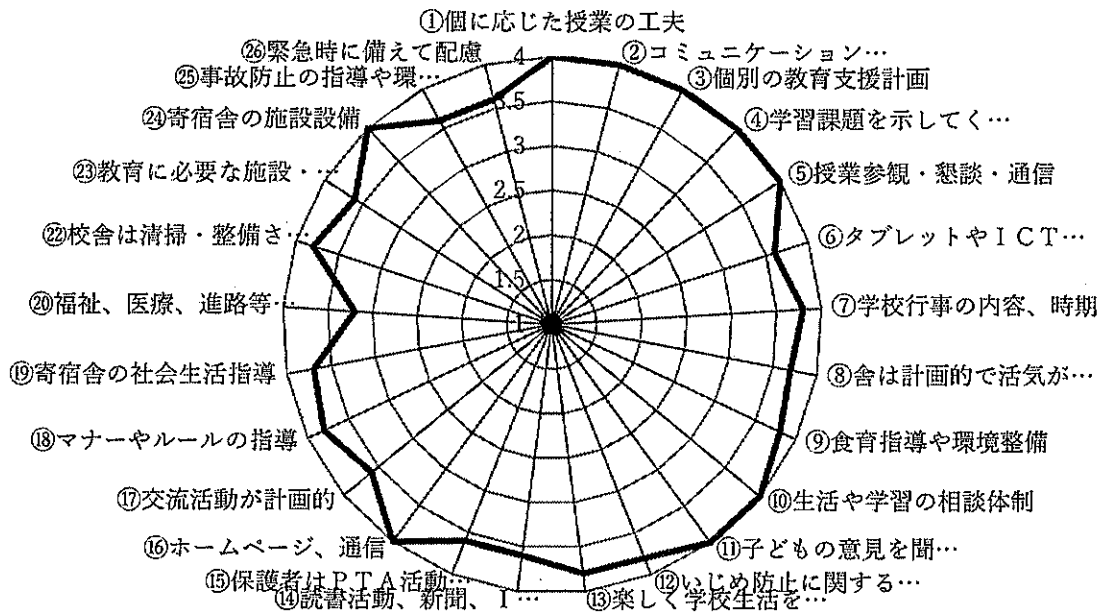
4:良くあてはまる 3:だいたいあてはまる 2:あまりあてはまらない 1:まったくあてはまらない

具体的評価内容		評価 %				評価	到達度(十分達成◎、概ね達成○、課題あり△)
		4	3	2	1		
学校について							
1	先生は、授業中に分かりやすくていねいに教えてくれる。	67%	33%			3.7	◎
2	授業内容が分かり、楽しく学習している。	67%	17%		17%	3.3	△
3	自分に合ったコミュニケーション方法で、気持ちを伝えることができ	50%	33%	17%		3.3	○
4	先生は、私の努力すべきことを教えてくれる。	67%	33%			3.7	◎
5	先生は家庭や寄宿舎での学習の仕方についてアドバイスをしてくれ	33%	50%	17%		3.2	○
6	家や寄宿舎でも、自分から進んで学習に取り組んでいる。	17%	33%	33%	17%	2.5	△
7	学習に必要な設備や道具が整っている。	83%	17%			3.8	◎
8	文化祭や体育祭などの学校行事に、意欲的に取り組んでいる。	83%	17%			3.8	◎
9	部活動は意欲的に参加している。(部活に参加している人のみ)	80%	20%			3.8	◎
10	舎生会活動は自分たちで考え、進んで取り組んでいる。(舎生のみ)	50%	50%			3.5	○
11	先生は、私の良いところをほめてくれる。	67%	33%			3.7	◎
12	困ったときや悩んだときは、先生が相談にのってくれる。	50%	50%			3.5	○
13	先生は、児童会・生徒会で自分たちが考えたことを聞いてくれる。	67%	17%	17%		3.5	○
14	自分から進んであいさつをしている。	100%				4.0	◎
15	まちがったことや悪いことをしたとき、先生は丁寧に話を聞いたり指導したりしてくれる。	50%	33%		17%	3.7	○
16	学校には仲の良い友達がいて楽しく生活している。	83%		17%		3.7	○
17	新聞やICT機器を使って、必要な情報を入手できる。	67%	33%			3.7	◎
18	服装などの身だしなみに気をつけている。	33%	33%	33%		3.0	△
19	進路・卒業後の生活について、先生は親身になって話してくれる。	50%	33%	17%		3.3	○
20	将来の自分を想像しながら、目標をもって学校生活を送っている。 (高等部のみ記入)						
21	先生は、病気や事故がないように気をつけてくれる。	83%	1%			3.8	◎
22	校舎は、掃除が行き届き、いつもきれいである。	50%	50%			3.5	○
23	校内には、危険な場所がなく安全である。	83%	17%			3.8	◎
24	宿舎の施設設備は、危険な場所がなく安全である。(舎生のみ記入)	100%				4.0	◎
25	学校では交通ルールや火災・地震の時の避難の仕方を教えてくれる	100%				4.0	◎
※家庭や寄宿舎での学習の取り組み方、身だしなみを課題と感じている生徒が一部見られるようです。家庭や寄宿舎と連携を深めながら、今後の指導に当たっていきたいと思います。また、授業においては、生徒が興味を持って取り組めるような内容、授業展開ができるように、今後も努力を続けていきたいと覆います。							

## 中学部



## 中学部保護者



令和4年度 長崎県立ろう学校 学校評価 集計表( 高等部 )

学校教育目標	○基本的人権を尊重し、幼児児童生徒の特性や発達段階、教育的ニーズに応じて幼稚園から 高等部まで一貫した教育を行うことにより、健康で明るく心豊かな人間を育成する。 ○聴覚障害による学習または生活上の困難を改善克服することにより、生きる力を高め自立 し積極的に社会参加できる力を培う。		
学校経営目標	①本校と佐世保分教室が目標を共有し、保護者及び寄宿舎との連携を深め、幼稚園から高等部専攻科まで一貫した教育を推進することにより、確かな学力とコミュニケーション力を基礎に、生きる力を育成する。 ②一人一人の個性を伸ばし、豊かな人間性の育成に努め、明るく元気な学校づくりを推進する。 ③関係機関や地域と密に連携し、社会に開かれ信頼される学校づくりに努める。 ④特別支援教育及び聴覚障害教育における教職員の専門性及び指導力の向上に努める。 ⑤本校、佐世保分教室が連携し、全県的な特別支援教育のセンター的機能の充実を図る。 ⑥個々の幼児児童生徒のキャリア発達を支援し、ニーズに応じた進路指導及び進路実現を図り、自立と社会参加を目指す。 ⑦施設・設備の整備を進め、幼児児童生徒及び職員の安心安全な教育環境の充実に努める。 ⑧業務改善アクションプランに基づき会議や行事の精選及び業務分担等の適正化を図り、働き方改革を推進する。 ⑨コンプライアンスを徹底し不祥事を根絶することにより、働きやすく風通しの良い職場環境づくりに努める。		
学部努力目標	①高等部職員間や寄宿舎職員との連携を深め、キャリア教育に基づいた教育活動を展開し、適切な進路の実現に向けて、勤労観、職業観を高めると共に、卒業後、主体的に生活する態度を養う。 ②一人一人の教育的ニーズを把握し、言語力、コミュニケーション力の向上に努め、自分の意思や考えを発信できる力を育成する。 ③保護者及び関係機関、地域との連携を図り、高等部の教育活動への理解を深める。 ④高等部は生きる力を育むことのできる最後の教育機関であることの自覚と責任をもち、専門性や指導力の向上を目指す。 ⑤中・高校生を中心とした教育相談・支援機能の充実を図り、聴覚障害教育のセンター的機能の役割を果たす。 ⑥部管轄の施設・設備の整備と学習環境の充実に努める。		
4 : 十分達成している 3 : おおむね達成している 2 : どちらかというとな達成されていない 1 : ほとんど達成されていない			
目標達成のための主な取組	点数	評価 %	今後に向けての課題
<b>(1) 確かな学力と生きる力の育成</b>			
①校内研修及び教科等部会を中心に、自ら学ぶ力を育むための授業改善と指導の充実に努める。  ( 評価点 3.1 )	4	16	
	3	80	
	2	4	
	1	0	
②聴覚活用の力を最大限に伸ばし、言語力、コミュニケーション力を高め、確かな日本語の習得と学力向上を目指す。  ( 評価点 3.2 )	4	28	生徒の聞こえに頼っている部分が多いと感じることがある。生徒の実態にもよるが、卒業後の社会生活を踏まえた言語力、コミュニケーション力、学力向上の指導に努めていきたい。
	3	68	
	2	4	
	1	0	
③自立活動を中心に聴覚障害による学習及び生活上の困難を改善・克服するための組織的な指導、支援の実践と職員研修の充実による専門性向上を図る。  ( 評価点 3.2 )	4	32	
	3	60	
	2	8	
	1	0	
④個別の教育支援計画及び個別の指導計画に基づき、家庭や関係機関と連携し個々の教育的ニーズに応じた指導・支援を推進する。  ( 評価点 3.2 )	4	28	
	3	64	
	2	8	
	1	0	
⑤家庭や寄宿舎と連携し、幼児児童生徒の基本的な生活習慣及び学習習慣の確立を図る。  ( 評価点 3.2 )	4	24	「先生は家庭や寄宿舎での学習の仕方についてアドバイスをしてくれる」という生徒の関連項目の数値が低い。決めた時間、与えられた内容の学習に取り組むが、必要に応じて、それ以上の取組ができていない現状が見える。今後も根気強く指導し続ける必要がある。
	3	68	
	2	8	
	1	0	
⑥情報機器管理や整備の充実を図り、授業や家庭学習におけるICT機器を活用した個別最適な学びや効果的な指導内容・方法の充実に努める。  ( 評価点 3.1 )	4	20	社会全体の品物不足の影響もあり、教員用のタブレットの数が少なく、生徒のタブレットの配置も遅かった。授業では工夫できることもあったが、家庭では不十分だと思われる。
	3	68	
	2	12	
	1	0	
⑦部活動や行事等の取組により幼児児童生徒の体力向上に努め、スポーツに親しみ主体的に取り組む態度や習慣を育成する。  ( 評価点 3.2 )	4	32	部活への入部、九ろうなどの学校行事への参加など勤めてはいるが、生徒、保護者の協力が得られない状況である。主体性の部分で課題有。
	3	56	
	2	12	
	1	0	
⑧食育を計画的に実践し、食への関心及び心身の成長や健康の保持・増進への意識を高める。  ( 評価点 3.3 )	4	28	
	3	72	
	2	0	
	1	0	

目標達成のための主な取組	点数		今後に向けての課題
		後期	
<b>(2)個性の伸長と豊かな人間性の育成および明るく元気な学校づくり</b>			
①幼児児童生徒の基本的人権を尊重し、年間計画に沿った人権教育を推進するとともに、全体計画に基づいた道徳教育の充実に努め、豊かな人間性の育成に努める。 (評価点 3.3)	4	28	
	3	72	
	2	0	
	1	0	
②児童会や生徒会活動を活性化し、幼児児童生徒同士の交流の機会を積極的に図ることにより、互いに認め合い協力する態度やコミュニケーション力の向上を図る。 (評価点 3.2)	4	28	同年代の他校の子どもたちとの関わりや交流の機会は大切だと考える。感染症対策、授業時間の確保、行事の精選等もあり難しい部分はあるが、本校内の子ども同士の関わりも含めて充実させたいところである。
	3	60	
	2	12	
	1	0	
③いじめ防止基本方針に沿った対応や定期的な生活アンケート等の実施により、家庭や関係機関と連携しながら、いじめやSNSトラブル等の課題解決に努める。 (評価点 3.4)	4	40	
	3	60	
	2	0	
	1	0	
④一人一人の特性や興味関心に応じた読書活動を進め、新聞を活用した教育活動を推進することにより広い視野と豊かな感性を育てる。 (評価点 3.1)	4	16	
	3	80	
	2	4	
	1	0	
<b>(3)関係機関や地域・保護者との連携強化</b>			
①PTA総会や各部保護者会の出席率を高め、ニーズに応じた保護者研修会等を実施することにより、教育方針の周知・理解と連携に努める。 (評価点 3.1)	4	20	保護者から要望のあるセミナーを設定しても、実際には参加者が少ない。それを現状として踏まえ、学校側からの情報発信を工夫したい。
	3	72	
	2	8	
	1	0	
②学校ホームページ等を通じて情報の発信に努め、学校教育の理解・啓発に努める。 (評価点 3.2)	4	28	
	3	68	
	2	4	
	1	0	
③居住地校や近隣の学校等との交流及び共同学習を進め、幼児児童生徒同士の豊かな交流を図ることにより社会性やコミュニケーション力の向上に努める。 (評価点 3.2)	4	17	
	3	83	
	2	0	
	1	0	
④自治会等地域との交流や清掃活動等を通して、学校教育に関する理解・啓発を図るとともに、地域に開かれた学校づくりを推進する。 (評価点 3.0)	4	17	コロナ渦ではあまりできていない。文化祭の参加も感染症感染防止のため、難しかった。現状を踏まえ、どのような方法が良いのか検討する必要がある。
	3	65	
	2	17	
	1	0	
<b>(4)教職員の専門性および指導力の向上</b>			
①校内研修計画に基づいた研究授業、授業研究を実施し、授業改善及び指導力向上に努める。 (評価点 3.2)	4	32	
	3	60	
	2	8	
	1	0	
②教育課程検討委員会や教科等部会を中心に、全職員でカリキュラムマネジメントによる一貫性、系統性のある教育課程編成及び改善に努める。 (評価点 3.2)	4	28	
	3	60	
	2	12	
	1	0	
③手話講習会等の外部講師を招聘した研修会を実施し、聴覚障害教育に関する専門性の維持継承に努める。 (評価点 3.4)	4	40	
	3	60	
	2	0	
	1	0	
④センター研修や九聴研等各種研修会に積極的に参加し、特別支援教育に関する専門性や指導力向上を図る。 (評価点 3.1)	4	17	
	3	79	
	2	4	
	1	0	



目標達成のための主な取組	点数		今後に向けての課題
		後期	
<b>(5)特別支援教育のセンター的機能の充実</b>			
①各地区の特別支援学校コーディネーター連絡会及び特別支援教育連絡協議会に積極的に参加し、聴覚障害幼児児童生徒の相談支援の充実とセンター的機能の役割を果たす。 (評価点 3.5)	4	46	
	3	54	
	2	0	
	1	0	
②医療、福祉、行政等関係機関とのネットワークを構築し、積極的に連携しながら難聴乳幼児の教育相談や支援を推進する。 (評価点 3.3)	4	39	
	3	57	
	2	4	
	1	0	
③幼・保・小中高等学校等の職員に対する研修会並びに研修協力に取り組み、学校教育の理解・啓発や特別支援教育の充実に努める。 (評価点 3.3)	4	35	
	3	61	
	2	4	
	1	0	
<b>(6)キャリア教育の充実</b>			
①幼児児童生徒の実態やキャリア発達段階に応じたキャリア教育全体計画の見直しに全職員で取り組む。 (評価点 3.2)	4	28	
	3	64	
	2	8	
	1	0	
②キャリアパスポートを効果的に活用し、キャリア発達に関する児童生徒の主体的な取組と進路実現を図る。 (評価点 3.0)	4	21	全体計画の見直しを行い、運用方法についての工夫を検討中である。併せて、キャリアパスポートの活用に関しても課題意識をもって検討する必要がある。
	3	63	
	2	17	
	1	0	
③全学部におけるキャリア教育に関連した教科等の実践や評価による教育課程編成や、改善に努める。 (評価点 3.1)	4	20	
	3	72	
	2	8	
	1	0	
④学校全体及び各部の進路指導計画を見直し、キャリア教育全体計画と関連させながら幼児児童生徒の実態やニーズに応じた指導を推進する。 (評価点 3.2)	4	24	
	3	72	
	2	4	
	1	0	
⑤職業科として身に付けさせたい資質・能力を明らかにし、各学科やコースごとに修了に必要な技能要件等を設定することにより、生徒の技能向上への意欲と社会人としての資質を高める。 (評価点 3.3)	4	33	
	3	58	
	2	8	
	1	0	
<b>(7)施設・設備の整備と教育環境の充実</b>			
①日常の点検に加えて各月の安全点検を徹底し、安心安全な教育環境整備に努める。 (評価点 3.5)	4	48	
	3	52	
	2	0	
	1	0	
②事故や災害防止に向けた訓練を実施し、外部専門家による指導助言を受けながら危機管理マニュアルの見直しや整備をすすめ、事件・事故のない学校づくりに努める。 (評価点 3.5)	4	48	訓練は実施したが、近年のJアラート発令などの実態から、ヘルメットをすぐ手の届くところに準備してそれを生徒が使えるように指導することも必要ではないかと思う。
	3	52	
	2	0	
	1	0	
<b>(8)働き方改革の推進</b>			
①業務改善アクションプランの方針に沿って学校が取り組むべき課題を明らかにし、業務の効率化を徹底する。 (評価点 3.0)	4	12	業務の効率化について、検討はするものの劇的改善につながる案は出ない。少しずつ、それぞれの意識改革を進める。
	3	76	
	2	12	
	1	0	
②プラス1推進運動や安全衛生委員会の取組を中心にした働き方改革を推進し、風通しの良い職場づくりに努める。 (評価点 3.1)	4	16	
	3	80	
	2	4	
	1	0	
<b>(9)コンプライアンスの徹底</b>			
①服務規律強化月間の取組を中心に、服務規律の保持・徹底に努める。 (評価点 3.2)	4	32	
	3	60	
	2	8	
	1	0	
②安全衛生委員会を中心に職場環境の整備と教職員の心身の健康増進に努める。 (評価点 3.2)	4	20	
	3	80	
	2	0	
	1	0	
③適切な事務処理に努め、校務全般の透明性の確保を徹底する。 (評価点 3.3)	4	32	
	3	68	
	2	0	
	1	0	

評価の欄に、下記の4～1を基準にして、あてはまる部分の欄に○を付けてください。

4:良くあてはまる 3:ややあてはまる 2あまりあてはまらない 1:まったくあてはまらない

具体的評価内容		評価%				評価	到達度(十分達成◎、概ね達成○課題あり△)
		4	3	2	1		
<b>確かな学力と生きる力の育成</b>							
1	◇個に応じた分かりやすい授業の工夫がなされている。	46%	54%			3.5	◎
2	◇個に応じた手段で、コミュニケーションの力を高めるための指導がなされている。	38%	62%			3.4	◎
3	◇個別の教育支援計画の支援目標は、保護者や子どものニーズにあっている。	38%	62%			3.4	◎
4	◇子どもが家庭や寄宿舎で取り組む学習課題を示してくれる。	31%	62%	8%		3.2	○
5	◇授業参観・学級懇談・通信などを通して、子どもの様子(学習・生活・健康等)を知らせてくれる。	31%	62%	8%		3.2	○
6	◇タブレットやICT機器を活用した授業推進がなされている。	31%	69%			3.3	◎
7	◇学校行事は、子どもの実態に応じた内容で、時期は適切である。	46%	54%			3.5	◎
8	◇寄宿舎は計画的で活気がある活動をしている。(舎生保護者の方のみ記入)	50%	50%			3.5	◎
9	◇健康・安全や食事マナーを考慮し、子どもに応じた食育指導や環境整備がなされている。	46%	54%			3.5	◎
<b>個性の伸長と豊かな人間性の育成および明るく元気な学校づくり</b>							
10	◇生活や学習について、親身になって相談にのってくれる体制ができています。	54%	23%	23%		3.3	△
11	◇教育活動全般において、子どもの意見を聞き、よく理解してくれる。	23%	46%	31%		2.9	△
12	◇いじめ防止に関する適切な取組がなされている。	38%	62%	23%		3.4	△
13	◇子どもは楽しく学校生活を送っている。	46%	31%	23%		3.2	△
14	◇読書活動や新聞、ICT機器を活用し、子どもの興味・関心を広げる工夫がなされている。	46%	46%	8%		3.4	○
<b>関係機関や地域・保護者との連携強化</b>							
15	◇保護者はPTA活動に協力的である。	38%	54%	8%		3.3	○
16	◇ホームページ、学校便りや学級通信で、教育方針や各部の目標、特色ある教育活動など、学校の様子を伝えてくれる。	38%	62%			3.4	◎
17	◇近隣の学校との交流活動が計画的に行われている。	38%	46%	15%		3.2	△
<b>キャリア教育の充実</b>							
18	◇社会生活に必要なマナーやルールなどについて、子どもに応じて指導がなされている。	31%	69%			3.3	◎
19	◇寄宿舎では年齢に応じた社会生活(挨拶や服装、社会のルール、マナー等)を身につけるような指導がなされている。(舎生保護者の方のみ)	57%	43%			3.6	◎
20	◇福祉、医療、進路等に関する情報提供がなされている。	31%	54%	15%		3.2	△
21	◇高等部は、生徒の技能向上への意欲と、社会人としての資質を高めるための指導がなされている。(高等部保護者の方のみ記入)	46%	46%	8%		3.4	○
<b>施設・設備の整備と教育環境の充実</b>							
22	◇校舎はよく清掃・整備されている。	85%	15%			3.8	◎
23	◇教育に必要な施設・設備が整っている。	69%	31%			3.7	◎
24	◇寄宿舎の施設設備は、安全・健康に配慮されている。(舎生保護者の方のみ記入)	100%				4.0	◎
25	◇事故防止のための指導や環境整備がなされている。	69%	31%			3.7	◎
26	◇災害などの緊急時に備えて適切な配慮がなされている。	62%	38%			3.6	◎
<p>○ホームページ上で学校の様子を伝える回数を増やしてほしいとの意見があった。個人情報の制限もあり、期待にこたえるには限界があることと、その作業にかかわる職員の時間確保が課題である。学びの場には、楽しいことと辛いことが混在して当然ではあるが、楽しそうな様子が伝わりやすい行事が、コロナの影響で保護者の目に触れにくくなっているとも感じる。放課後の教室での談笑の様子など、日常の様子も発信していく必要があるのかもしれない。</p> <p>○福祉や医療に関する情報提供の弱さが指摘された。研修会などの機会を作るが出席者が少ない現状もある。ホームページなどを活用して情報が伝わりやすい工夫が必要である。</p> <p>○ICT活用の要望から、今年度は紙媒体に含めWEBアンケートシステムでの提出もできるようにしたが、多くは紙媒体での提出だった。WEBの場合、システム上記名が必須のため、無記名性に課題が残った。担当者や管理職のみしか確認できないので情報が広がる恐れはないが、次年度もWEB活用をするかも含めて再検討をする。</p> <p>○「10」「11」について、具体例の記述がないので分かりにくい、不安を感じているとの意見があった。生徒の関連項目でも、個人的には低い評価が見られる。カウンセリングマインドについて再確認しつつ、スクールカウンセラーなどとの連携を強め、信頼を高めたい。</p>							

令和4年度 長崎県立ろう学校学校評価児童生徒アンケート 13人 / 13人 回収率 100%

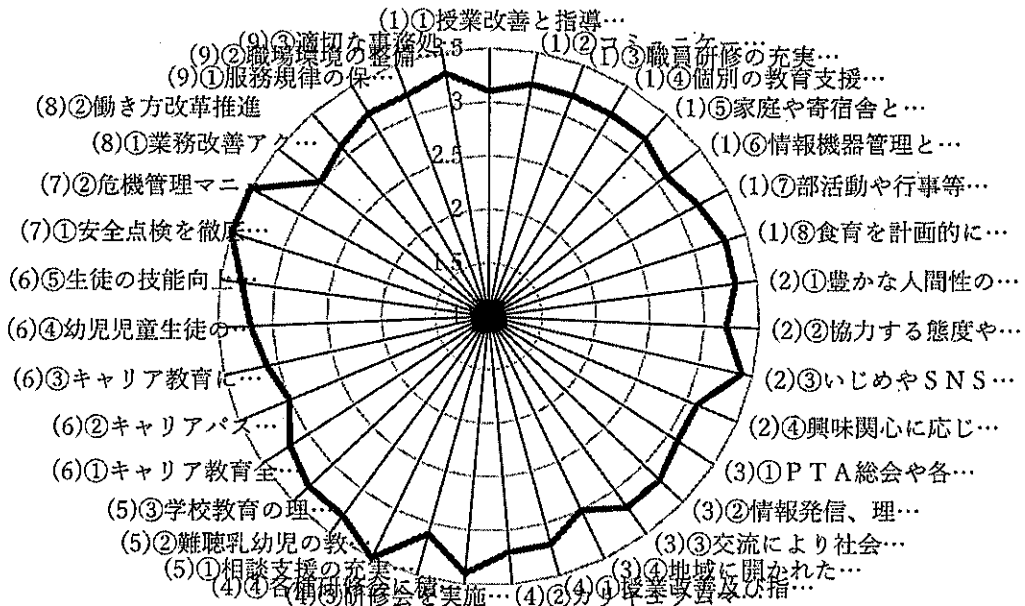
( 高等 ) 部

評価の欄に、下記の数字を基準にして、あてはまる部分の欄に○を付けてください。

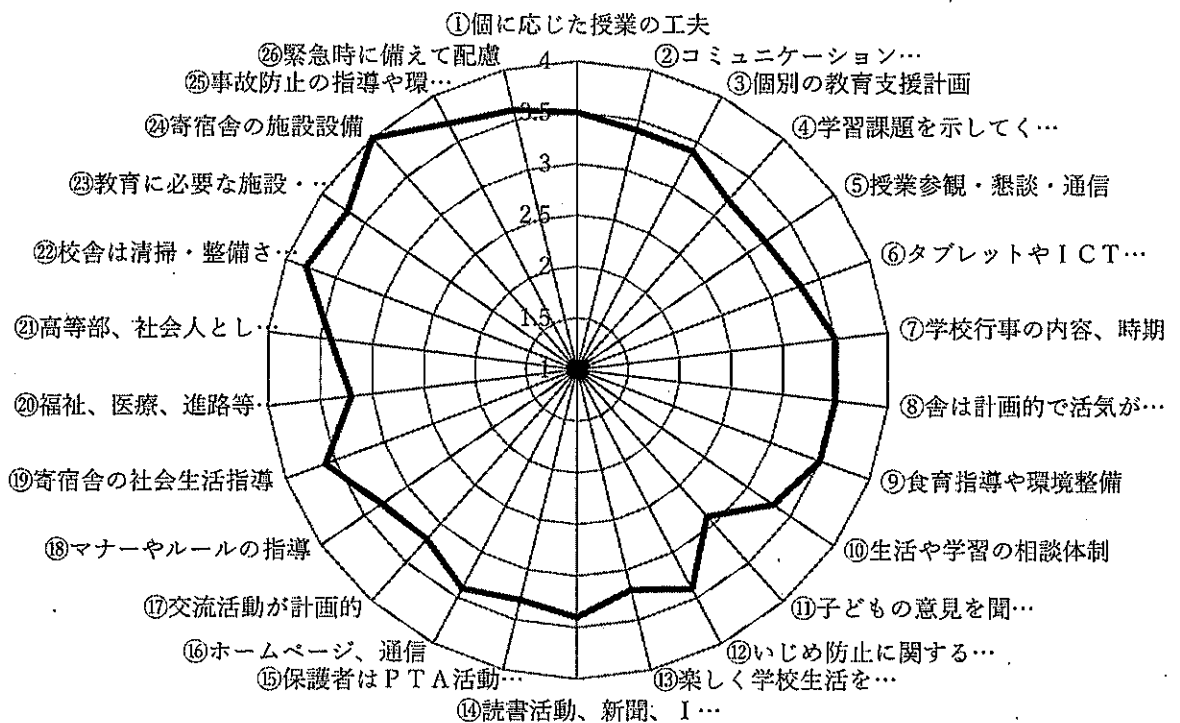
4:良くあてはまる 3:だいたいあてはまる 2:あまりあてはまらない 1:まったくあてはまらない

具体的評価内容		評価 %				評価	到達度(十分達成◎、概ね達成○、課題あり△)
		4	3	2	1		
学校について							
1	先生は、授業中に分かりやすくていねいに教えてくれる。	31%	69%			3.3	◎
2	授業内容が分かり、楽しく学習している。	38%	38%	23%		3.2	△
3	自分に合ったコミュニケーション方法で、気持ちを伝えることができる。		100%			3.0	△
4	先生は、私の努力すべきことを教えてくれる。	46%	54%			3.5	◎
5	先生は家庭や寄宿舎での学習の仕方についてアドバイスをしてくれる。	23%	54%	15%	8%	2.9	△
6	家や寄宿舎でも、自分から進んで学習に取り組んでいる。	38%	46%	15%		3.2	△
7	学習に必要な設備や道具が整っている。	46%	54%			3.5	◎
8	文化祭や体育祭などの学校行事に、意欲的に取り組んでいる。	31%	62%	8%		3.2	○
9	部活動は意欲的に参加している。(部活に参加している人のみ)	14%	57%	14%	14%	2.7	△
10	舎生会活動は自分たちで考え、進んで取り組んでいる。(舎生のみ)	14%	71%	14%		3.0	△
11	先生は、私の良いところをほめてくれる。	31%	69%			3.3	◎
12	困ったときや悩んだときは、先生が相談にのってくれる。	46%	38%	15%		3.3	△
13	先生は、児童会・生徒会で自分たちが考えたことを聞いてくれる。	38%	54%	8%		3.3	○
14	自分から進んであいさつをしている。	77%	23%			3.8	◎
15	まちがったことや悪いことをしたとき、先生は丁寧に話を聞いたり指導したりしてくれる。	77%	23%			3.8	◎
16	学校には仲の良い友達がいて楽しく生活している。	31%	38%	31%		3.0	△
17	新聞やICT機器を使って、必要な情報を入手できる。	31%	4%	23%		3.1	△
18	服装などの身だしなみに気をつけている。	62%	38%			3.6	◎
19	進路・卒業後の生活について、先生は親身になって話してくれる。	38%	62%			3.4	◎
20	将来の自分を想像しながら、目標をもって学校生活を送っている。(高等部のみ記入)	38%	62%			3.4	◎
21	先生は、病気や事故がないように気をつけてくれる。	54%	46%			3.5	◎
22	校舎は、掃除が行き届き、いつもきれいだ。	62%	38%			3.6	◎
23	校内には、危険な場所がなく安全である。	69%	31%			3.7	◎
24	宿舎の施設設備は、危険な場所がなく安全である。(舎生のみ記入)	57%	43%			3.6	◎
25	学校では交通ルールや火災・地震の時の避難の仕方を教えてくれる。	69%	31%			3.7	◎
<p>○授業内容の理解について、高校生段階のレベルに追いついていない生徒が含まれている。個人の興味を育てる工夫が必要である。</p> <p>○コミュニケーションについては、不自由なく伝わっているという認識が多いが、伝わっていないことに気付きにくい実態も感じられる。高校生段階として、合理的配慮を求める力を育てるためにも、困る経験の必要性を感じる。</p> <p>○課題などに追われている生徒もいるが、教師が伝えたい内容がうまく伝わっていない生徒もいるようだ。待つばかりでなく、高校生として、アドバイスを求める姿勢を育てたい。</p> <p>○自分から進んで取り組めると言えない生徒が含まれている。自律して課題意識をもって学習に臨めるように授業内容の工夫が必要である。</p> <p>部活動に取り組む気持ちにも個人差がある。少ない人数なので、集団としての楽しみが少ないことも原因の一つと考えられる。</p> <p>○悩みへの対処について、不安が大きい生徒がいることが分かる。規模の小さい集団なので、内容によっては相談しにくい可能性もあるが、スクールカウンセラーなどに、自然につながるような雰囲気づくりをしていきたい。</p> <p>○少ない集団なので、気の合う友達ができにくい学年もあることは事実である。学年、学部を越えた縦のつながりも意識を高めたい。</p> <p>○新聞やICT機器による情報入手がしやすい環境にあるが、使用の方法が分かりにくい生徒もいる。情報の取捨選択についてが課題である。</p>							

## 高等部



## 高等部保護者



令和4年度 長崎県立ろう学校 学校評価 集計表(分教室)

学校教育目標	○基本的人権を尊重し、幼児児童生徒の特性や発達段階、教育的ニーズに応じて幼稚園から高等部まで一貫した教育を行うことにより、健康で明るく心豊かな人間を育成する。 ○聴覚障害による学習または生活上の困難を改善克服することにより、生きる力を高め自立し積極的に社会参加できる力を培う。		
学校経営目標	①本校と佐世保分教室が目標を共有し、保護者及び寄宿舎との連携を深め、幼稚園から高等部専攻科まで一貫した教育を推進することにより、確かな学力とコミュニケーション力を基礎に、生きる力を育成する。 ②一人一人の個性を伸ばし、豊かな人間性の育成に努め、明るく元気な学校づくりに推進する。 ③関係機関や地域と密に連携し、社会に開かれ信頼される学校づくりに努める。 ④特別支援教育及び聴覚障害教育における教職員の専門性及び指導力の向上に努める。 ⑤本校、佐世保分教室が連携し、全県的な特別支援教育のセンター的機能の充実に努める。 ⑥個々の幼児児童生徒のキャリア発達を支援し、ニーズに応じた進路指導及び進路実現を図り、自立と社会参加を目指す。 ⑦施設・設備の整備を進め、幼児児童生徒及び職員の安心安全な教育環境の充実に努める。 ⑧業務改善アクションプランに基づき会議や行事の精選及び業務分担等の適正化を図り、働き方改革を推進する。 ⑨コンプライアンスを徹底し不祥事を根絶することにより、働きやすく風通しの良い職場環境づくりに努める。		
学部努力目標			
4：十分達成している 3：おおむね達成している 2：どちらかという達成されていない 1：ほとんど達成されていない			
目標達成のための主な取組	点数	評価 %	今後に向けての課題
<b>(1) 確かな学力と生きる力の育成</b>			
①校内研修及び教科等部会を中心に、自ら学ぶ力を育むための授業改善と指導の充実に努める。 (評価点 3.2)	4 3 2 1	21 79 0 0	
②聴覚活用の力を最大限に伸ばし、言語力、コミュニケーション力を高め、確かな日本語の習得と学力向上を目指す。 (評価点 3.1)	4 3 2 1	14 86 0 0	・先生方が幼児児童生徒の伸びを実感し、実践していることに肯定感をもつことが必要だと感じる。
③自立活動を中心に聴覚障害による学習及び生活上の困難を改善・克服するための組織的な指導、支援の実践と職員研修の充実による専門性向上を図る。 (評価点 3.3)	4 3 2 1	29 71 0 0	
④個別の教育支援計画及び個別の指導計画に基づき、家庭や関係機関と連携し個々の教育的ニーズに応じた指導・支援を推進する。 (評価点 3.3)	4 3 2 1	29 71 0 0	
⑤家庭や寄宿舎と連携し、幼児児童生徒の基本的な生活習慣及び学習習慣の確立を図る。 (評価点 3.2)	4 3 2 1	21 79 0 0	
⑥情報機器管理や整備の充実に努め、授業や家庭学習におけるICT機器を活用した個別最適な学びや効果的な指導内容・方法の充実に努める。 (評価点 3.1)	4 3 2 1	14 86 0 0	・授業においては、各部共にICT機器を活用した授業が行われている。家庭学習については実態に応じて活用し始めているところである。
⑦部活動や行事等の取組により幼児児童生徒の体力向上に努め、スポーツに親しみ主体的に取り組む態度や習慣を育成する。 (評価点 3.3)	4 3 2 1	29 71 0 0	
⑧食育を計画的に実践し、食への関心及び心身の成長や健康の保持・増進への意識を高める。 (評価点 3.2)	4 3 2 1	21 79 0 0	

目標達成のための主な取組	点数		今後に向けての課題
	前期	後期	
<b>(2)個性の伸長と豊かな人間性の育成および明るく元気な学校づくり</b>			
①幼児児童生徒の基本的人権を尊重し、年間計画に沿った人権教育を推進するとともに、全体計画に基づいた道徳教育の充実に努め、豊かな人間性の育成に努める。 (評価点 3.2)	4	21	
	3	79	
	2	0	
	1	0	
②児童会や生徒会活動を活性化し、幼児児童生徒同士の交流の機会を積極的に図ることにより、互いに認め合い協力する態度やコミュニケーション力の向上を図る。 (評価点 3.1)	4	14	・小中学部は児童生徒会としての活動が行われており、全校での活動も学期に数回実施されているので、おおむね達成できていると思われる。
	3	79	
	2	7	
	1	0	
③いじめ防止基本方針に沿った対応や定期的な生活アンケート等の実施により、家庭や関係機関と連携しながら、いじめやSNSトラブル等の課題解決に努める。 (評価点 3.4)	4	43	
	3	57	
	2	0	
	1	0	
④一人一人の特性や興味関心に応じた読書活動を進め、新聞を活用した教育活動を推進することにより広い視野と豊かな感性を育てる。 (評価点 3.0)	4	7	・教務部主催の読書週間の取組や子ども新聞の掲示など、実践している。それらの取組を各クラスに生かす事、何につながっているのかを再確認することが必要である。
	3	86	
	2	7	
	1	0	
<b>(3)関係機関や地域・保護者との連携強化</b>			
①PTA総会や各部保護者会の出席率を高め、ニーズに応じた保護者研修会等を実施することにより、教育方針の周知・理解と連携に努める。 (評価点 3.2)	4	29	
	3	64	
	2	7	
	1	0	
②学校ホームページ等を通じて情報の発信に努め、学校教育の理解・啓発に努める。 (評価点 3.1)	4	14	・行事や授業後の発信は各部で随時行っている。 ・行事や授業後、もう少し早めにアップできるように努める。
	3	86	
	2	0	
	1	0	
③居住地校や近隣の学校等との交流及び共同学習を進め、幼児児童生徒同士の豊かな交流を図ることにより社会性やコミュニケーション力の向上に努める。 (評価点 3.5)	4	50	
	3	50	
	2	0	
	1	0	
④自治会等地域との交流や清掃活動等を通して、学校教育に関する理解・啓発を図るとともに、地域に開かれた学校づくりを推進する。 (評価点 2.8)	4	7	・直接交流という形では行わなかったため、低評価になっている。 ・数年ぶりに開催された地区の祭りには、作品展示という形で参加した。 ・地域の清掃活動等の学習を考えていきたい。
	3	64	
	2	29	
	1	0	
<b>(4)教職員の専門性および指導力の向上</b>			
①校内研修計画に基づいた研究授業、授業研究を実施し、授業改善及び指導力向上に努める。 (評価点 3.1)	4	14	・校内研究に関連した研究授業は実施していないが、経年研修の研究授業は今年度4例あり、職員の研修ができています。経年研修ということもあり、各部主体の実施となったため、低評価となった。 ・職員数が少ないため、今後は校内研究と経年研修を関連
	3	79	
	2	7	
	1	0	
②教育課程検討委員会や教科等部会を中心に、全職員でカリキュラムマネジメントによる一貫性、系統性のある教育課程編成及び改善に努める。 (評価点 3.1)	4	7	・全職員で教育課程の編成・改善に取り組んでいるが、編成上の課題が多く、「十分にできた」と実感できている職員が少ないと思われる。
	3	93	
	2	0	
	1	0	
③手話講習会等の外部講師を招聘した研修会を実施し、聴覚障害教育に関する専門性の維持継承に努める。 (評価点 3.5)	4	50	
	3	50	
	2	0	
	1	0	
④センター研修や九聴研等各種研修会に積極的に参加し、特別支援教育に関する専門性や指導力向上を図る。 (評価点 3.1)	4	21	・センター研修や各種研修会の案内は研修部から行っているが、授業のやりくりなどで参加が難しいと思われる。 ・市内小中学校の教科研究会には所属し、研修会に参加している。
	3	64	
	2	14	
	1	0	

目標達成のための主な取組	点数		今後に向けての課題
		後期	
<b>(5)特別支援教育のセンター的機能の充実</b>			
①各地区の特別支援学校コーディネーター連絡会及び特別支援教育連絡協議会に積極的に参加し、聴覚障害幼児児童生徒の相談支援の充実とセンター的機能の役割を果たす。 (評価点 3.4)	4	43	
	3	50	
	2	7	
	1	0	
②医療、福祉、行政等関係機関とのネットワークを構築し、積極的に連携しながら難聴乳幼児の教育相談や支援を推進する。 (評価点 3.1)	4	14	・医療や福祉などの機関と連携し、在学生や教育相談性の支援にあたっている。
	3	79	
	2	7	
	1	0	
③幼・保・小中高等学校等の職員に対する研修会並びに研修協力に取り組み、学校教育の理解・啓発や特別支援教育の充実に努める。 (評価点 3.1)	4	14	・コーディネーターを中心に研修協力ができている。
	3	79	
	2	7	
	1	0	
<b>(6)キャリア教育の充実</b>			
①幼児児童生徒の実態やキャリア発達段階に応じたキャリア教育全体計画の見直しに全職員で取り組む。 (評価点 2.9)	4	8	・キャリア教育全体計画の見直しには参画できていない。 ・本校との連携できるよう働きかける。
	3	77	
	2	15	
	1	0	
②キャリアパスポートを効果的に活用し、キャリア発達に関する児童生徒の主体的な取組と進路実現を図る。 (評価点 3.0)	4	15	・幼稚部にはキャリアパスポートの活用はないが、本校を参考にし、キャリア発達を意識した授業を行っていく。
	3	69	
	2	15	
	1	0	
③全学部におけるキャリア教育に関連した教科等の実践や評価による教育課程編成や、改善に努める。 (評価点 3.1)	4	15	・欠学年が多いため、実践や評価が全学部の教育課程編成や改善につながりづらい現状がある。 ・授業計画や校外学習計画の際にキャリア教育の視点を加えるよう検討する。
	3	77	
	2	8	
	1	0	
④学校全体及び各部の進路指導計画を見直し、キャリア教育全体計画と関連させながら幼児児童生徒の実態やニーズに応じた指導を推進する。 (評価点 3.2)	4	15	
	3	85	
	2	0	
	1	0	
⑤職業科として身に付けさせたい資質・能力を明らかにし、各学科やコースごとに修了に必要な技能要件等を設定することにより、生徒の技能向上への意欲と社会人としての資質を高める。 (評価点 3.0)	4	10	
	3	80	
	2	10	
	1	0	
<b>(7)施設・設備の整備と教育環境の充実</b>			
①日常の点検に加えて各月の安全点検を徹底し、安心安全な教育環境整備に努める。 (評価点 3.4)	4	43	
	3	57	
	2	0	
	1	0	
②事故や災害防止に向けた訓練を実施し、外部専門家による指導助言を受けながら危機管理マニュアルの見直しや整備をすすめ、事件・事故のない学校づくりに努める。 (評価点 3.4)	4	43	
	3	57	
	2	0	
	1	0	
<b>(8)働き方改革の推進</b>			
①業務改善アクションプランの方針に沿って学校が取り組むべき課題を明らかにし、業務の効率化を徹底する。 (評価点 3.1)	4	7	おおむね達成できた。 安全衛生委員会が中心となり、課題を明らかにし、改善しようと働きかけている
	3	93	
	2	0	
	1	0	
②プラス1推進運動や安全衛生委員会の取組を中心にした働き方改革を推進し、風通しの良い職場づくりに努める。 (評価点 3.2)	4	21	
	3	79	
	2	0	
	1	0	
<b>(9)コンプライアンスの徹底</b>			
①服務規律強化月間の取組を中心に、服務規律の保持・徹底に努める。 (評価点 3.3)	4	29	
	3	71	
	2	0	
	1	0	
②安全衛生委員会を中心に職場環境の整備と教職員の心身の健康増進に努める。 (評価点 3.3)	4	29	
	3	71	
	2	0	
	1	0	
③適切な事務処理に努め、校務全般の透明性の確保を徹底する。 (評価点 3.1)	4	21	・記述がなかったため、2の評価の理由が分からないが、適切な事務処理と校務全般の透明性の確保に努めたい。
	3	71	
	2	7	
	1	0	

(分教室)部

評価の欄に、下記の4~1を基準にして、あてはまる部分の欄に○を付けてください。

4:良くあてはまる 3:ややあてはまる 2あまりあてはまらない 1:まったくあてはまらない

具体的評価内容		評価%				評価	到達度(十分達成◎、概ね達成○課題あり△)
		4	3	2	1		
<b>確かな学力と生きる力の育成</b>							
1	◇個に応じた分かりやすい授業の工夫がなされている。	75%	25%			3.8	○
2	◇個に応じた手段で、コミュニケーションの力を高めるための指導がなされている。	67%	25%	8%		3.6	○
3	◇個別の教育支援計画の支援目標は、保護者や子どものニーズにあっている。	92%	8%			3.9	◎
4	◇子どもが家庭や寄宿舎で取り組む学習課題を示してくれる。	82%	9%	9%		3.7	○
5	◇授業参観・学級懇談・通信などを通して、子どもの様子(学習・生活・健康等)を知らせてくれる。	92%	8%			3.9	◎
6	◇タブレットやICT機器を活用した授業推進がなされている。	30%	50%	20%		3.1	△
7	◇学校行事は、子どもの実態に応じた内容で、時期は適切である。	75%	25%			3.8	○
8	◇寄宿舎は計画的で活気がある活動をしている。 (舎生保護者の方のみ記入)						
9	◇健康・安全や食事マナーを考慮し、子どもに応じた食育指導や環境整備がなされている。	67%	25%	8%		3.6	○
<b>個性の伸長と豊かな人間性の育成および明るく元気な学校づくり</b>							
10	◇生活や学習について、親身になって相談にのってくれる体制ができています。	83%	17%			3.8	○
11	◇教育活動全般において、子どもの意見を聞き、よく理解してくれる。	83%	17%			3.8	○
12	◇いじめ防止に関する適切な取組がなされている。	73%	27%			3.7	○
13	◇子どもは楽しく学校生活を送っている。	83%	17%			3.8	○
14	◇読書活動や新聞、ICT機器を活用し、子どもの興味・関心を広げる工夫がなされている。	42%	50%		8%	3.3	△
<b>関係機関や地域・保護者との連携強化</b>							
15	◇保護者はPTA活動に協力的である。	42%	42%	17%		3.3	○
16	◇ホームページ、学校便りや学級通信で、教育方針や各部の目標、特色ある教育活動など、学校の様子を伝えてくれる。	67%	33%			3.7	○
17	◇近隣の学校との交流活動が計画的に行われている。	58%	42%			3.6	○
<b>キャリア教育の充実</b>							
18	◇社会生活に必要なマナーやルールなどについて、子どもに応じて指導がなされている。	58%	33%	8%		3.5	○
19	◇寄宿舎では年齢に応じた社会生活(挨拶や服装、社会のルール、マナー等)を身につけるような指導がなされている。(舎生保護者の方のみ)						
20	◇福祉、医療、進路等に関する情報提供がなされている。	58%	17%	17%	8%	3.3	△
21	◇高等部は、生徒の技能向上への意欲と、社会人としての資質を高めるための指導がなされている。(高等部保護者の方のみ記入)						
<b>施設・設備の整備と教育環境の充実</b>							
22	◇校舎はよく清掃・整備されている。	58%	33%	8%		3.5	○
23	◇教育に必要な施設・設備が整っている。	42%	50%		8%	3.3	△
24	◇寄宿舎の施設設備は、安全・健康に配慮されている。(舎生保護者の方のみ記入)						
25	◇事故防止のための指導や環境整備がなされている。	58%	33%	8%		3.5	○
26	◇災害などの緊急時に備えて適切な配慮がなされている。	75%	25%			3.8	○
<p>(6)授業におけるタブレットやICT機器の活用状況をお伝えする機会を設けたい。また、小中学部においては、ご家庭と連携し、タブレットを活用した家庭学習についても進めていきたい。</p> <p>(14)「子どもの興味関心を広げる工夫を」というご意見をいただいた。職員で共有し、情報機器の活用技術や時事への興味関心、収集力を高めていきたい。</p> <p>(15)PTA保護者会や授業参観には、ほぼ100%の出席をいただいている。本校と連携しての広報誌づくりにも取り組んでいるが、その他の活動についての取組方法については、PTA役員の方と検討していきたい。</p> <p>(20)情報提供については個別に対応しているが、分教室独自の研修会開催や便り発行はできていない。分教室だけでは情報収集が難しいこともあるので、本校とも連携し、情報提供できるようにしていきたい。</p> <p>(23)「砂場、遊具の整備を」というご意見をいただいた。自由に存分に体を動かすことのできる環境は大切だと考えるので、まずは、職員でできる環境整備に努めていきたい。</p>							



令和4年度 長崎県立ろう学校学校評価児童生徒アンケート 3人 /4人 回収率 75%

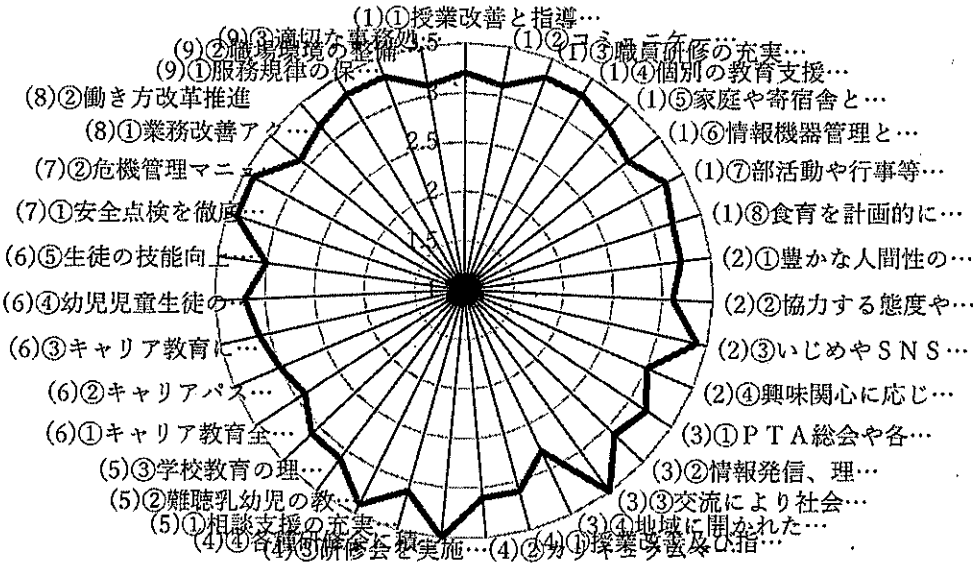
(分教室)部

評価の欄に、下記の数字を基準にして、あてはまる部分の欄に○を付けてください。

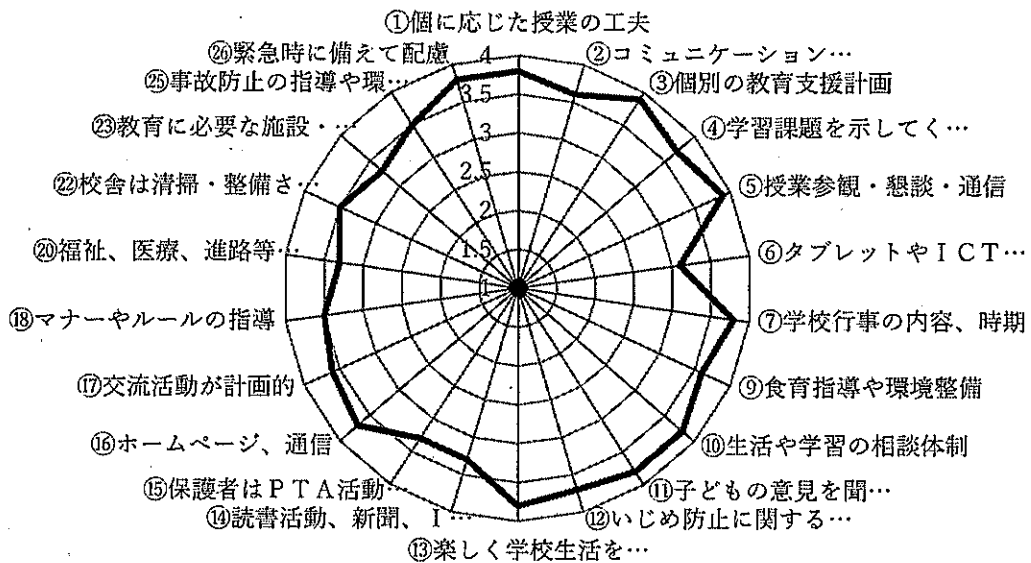
4:良くあてはまる 3:だいたいあてはまる 2:あまりあてはまらない 1:まったくあてはまらない

具体的評価内容		評価%				評価	到達度(十分達成◎、概ね達成○、課題あり△)
		4	3	2	1		
学校について							
1	先生は、授業中に分かりやすくていねいに教えてくれる。	33%	67%			3.3	○
2	授業内容が分かり、楽しく学習している。	50%	50%			3.5	○
3	自分に合ったコミュニケーション方法で、気持ちを伝えることができる。	33%	67%			3.3	○
4	先生は、私の努力すべきことを教えてくれる。	50%	50%			3.5	○
5	先生は家庭や寄宿舎での学習の仕方についてアドバイスをしてくれる。		100%			3.0	○
6	家や寄宿舎でも、自分から進んで学習に取り組んでいる。	33%	33%		33%	2.7	△
7	学習に必要な設備や道具が整っている。	67%	33%			3.7	○
8	文化祭や体育祭などの学校行事に、意欲的に取り組んでいる。	33%	33%		33%	2.7	△
9	部活動は意欲的に参加している。(部活に参加している人のみ)		100%			3.0	○
10	舎生会活動は自分たちで考え、進んで取り組んでいる。(舎生のみ)						
11	先生は、私の良いところをほめてくれる。	50%	50%			3.5	○
12	困ったときや悩んだときは、先生が相談にのってくれる。	50%	50%			3.5	○
13	先生は、児童会・生徒会で自分たちが考えたことを聞いてくれる。		100%			3.0	○
14	自分から進んであいさつをしている。	33%	33%		33%	2.7	△
15	まちがったことや悪いことをしたとき、先生は丁寧に話を聞いたり指導したりしてくれる。	50%	50%			3.5	○
16	学校には仲の良い友達がいて楽しく生活している。	50%	50%			3.5	○
17	新聞やICT機器を使って、必要な情報を入手できる。	33%	67%			3.3	○
18	服装などの身だしなみに気をつけている。	33%	33%		33%	2.7	△
19	進路・卒業後の生活について、先生は親身になって話してくれる。		100%			3.0	○
20	将来の自分を想像しながら、目標をもって学校生活を送っている。(高等部のみ記入)						
21	先生は、病気や事故がないように気をつけてくれる。	33%	67%			3.3	○
22	校舎は、掃除が行き届き、いつもきれいである。	50%	50%			3.5	○
23	校内には、危険な場所がなく安全である。	67%	33%			3.7	○
24	宿舎の施設設備は、危険な場所がなく安全である。(舎生のみ記入)						
25	学校では交通ルールや火災・地震の時の避難の仕方を教えてくれる。	50%	50%			3.5	○
・児童生徒が主体的に学習に取り組めるよう、環境整備や情報提供に努めていく。 ・児童生徒の悩みや困り感に寄り添えるよう、対話を心がけたい。							

## 分教室



## 分教室保護者

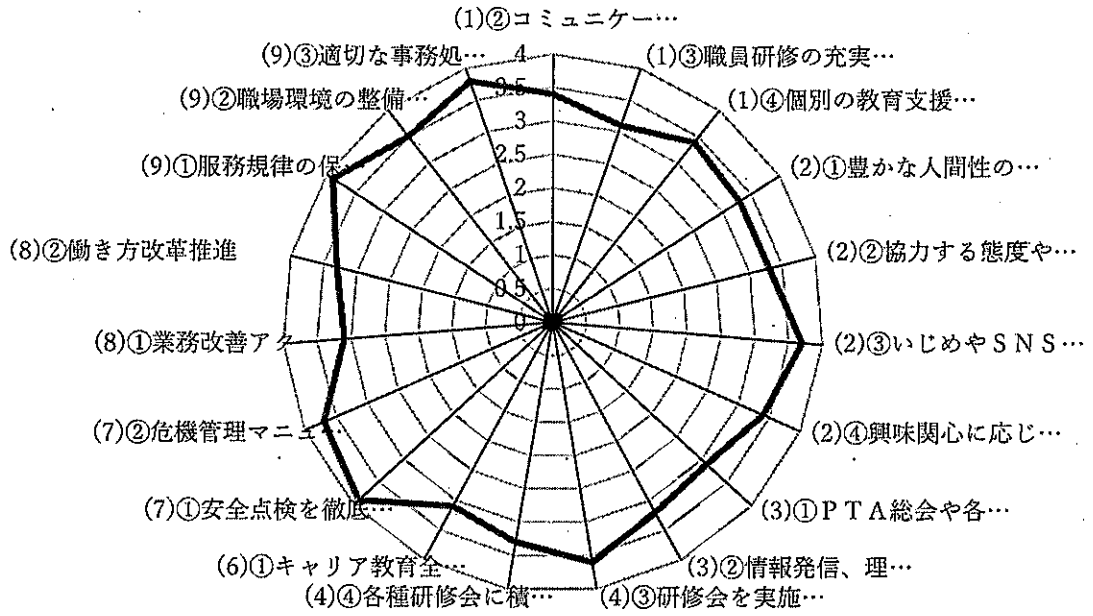


令和4年度 長崎県立ろう学校 学校評価 集計表( 寄宿舍 )

学校教育目標	○基本的な人権を尊重し、幼児児童生徒の特性や発達段階、教育的ニーズに応じて幼稚部から 高等部まで一貫した教育を行うことにより、健康で明るく心豊かな人間を育成する。 ○聴覚障害による学習または生活上の困難を改善克服することにより、生きる力を高め自立 し積極的に社会参加できる力を培う。		
学校経営目標	①本校と佐世保分教室が目標を共有し、保護者及び寄宿舍との連携を深め、幼稚部から高等部専攻科まで一貫した教育を推進することにより、確かな学力とコミュニケーション力を基礎に、生きる力を育成する。 ②一人一人の個性を伸ばし、豊かな人間性の育成に努め、明るく元気な学校づくりを推進する。 ③関係機関や地域と密に連携し、社会に開かれ信頼される学校づくりに努める。 ④特別支援教育及び聴覚障害教育における教職員の専門性及び指導力の向上に努める。 ⑤本校、佐世保分教室が連携し、全県的な特別支援教育のセンター的機能の充実に努める。 ⑥個々の幼児児童生徒のキャリア発達を支援し、ニーズに応じた進路指導及び進路実現を図り、自立と社会参加を目指す。 ⑦施設・設備の整備を進め、幼児児童生徒及び職員の安心安全な教育環境の充実に努める。 ⑧業務改善アクションプランに基づき会議や行事の精選及び業務分担等の適正化を図り、働き方改革を推進する。 ⑨コンプライアンスを徹底し不祥事を根絶することにより、働きやすく風通しの良い職場環境づくりに努める。		
学部努力目標	(1) 基本的な生活習慣の確立を図る。 ○日課の中で、自主的・計画的な生活態度を身に付けるよう、指導・支援を行う。 ○日々の食事・掃除・洗濯や避難訓練等を通して、食・健康・安全・衛生についての基礎的な知識を身に付けるよう指導・支援を行う。 ○預金の払い出しや小遣い帳の記入を通して、金銭感覚を養うよう指導・支援を行う。 (2) 集団生活を通して社会性の育成に努める。 ○職員・友人との関わりや、ろうあ協会・外部講師との交流を通して、コミュニケーション力や社会性を育てる。 ○自治活動において行事の計画や共同作業などを通して、協力し合うことの大切さを学び、責任感を培うよう指導・支援を行う。 (3) 学校及び保護者との連携を図る。 ○学校・保護者と情報を共有し、共通理解を図り、一貫した指導・支援を行う。		
4 : 十分達成している    3 : おおむね達成している    2 : どちらかという達成されていない    1 : ほとんど達成されていない			
目標達成のための主な取組	点数	評価 %	今後に向けての課題
<b>(1) 確かな学力と生きる力の育成</b>			
②聴覚活用の力を最大限に伸ばし、言語力、コミュニケーション力を高め、確かな日本語の習得と学力向上を目指す。 ( 評価点                    3.4 )	4 3 2 1	40 60 0 0	
③自立活動を中心に聴覚障害による学習及び生活上の困難を改善・克服するための組織的な指導、支援の実践と職員研修の充実による専門性向上を図る。 ( 評価点                    3.1 )	4 3 2 1	10 90 0 0	・舎生の生活上の困難さの背景要因をとらえ、それに合わせた支援を行っていく必要がある。 ・実態把握の視点として、今後も自立活動の6区分を活用するための研修を引き続き行う。
④個別の教育支援計画及び個別の指導計画に基づき、家庭や関係機関と連携し個々の教育的ニーズに応じた指導・支援を推進する。 ( 評価点                    3.4 )	4 3 2 1	40 60 0 0	
<b>(2) 個性の伸長と豊かな人間性の育成および明るく元気な学校づくり</b>			
①幼児児童生徒の基本的な人権を尊重し、年間計画に沿った人権教育を推進するとともに、全体計画に基づいた道徳教育の充実に努め、豊かな人間性の育成に努める。 ( 評価点                    3.3 )	4 3 2 1	30 70 0 0	
②児童会や生徒会活動を活性化し、幼児児童生徒同士の交流の機会を積極的に図ることにより、互いに認め合い協力する態度やコミュニケーション力の向上を図る。 ( 評価点                    3.3 )	4 3 2 1	30 70 0 0	
③いじめ防止基本方針に沿った対応や定期的な生活アンケート等の実施により、家庭や関係機関と連携しながら、いじめやSNSトラブル等の課題解決に努める。 ( 評価点                    3.7 )	4 3 2 1	70 30 0 0	
④一人一人の特性や興味関心に応じた読書活動を進め、新聞を活用した教育活動を推進することにより広い視野と豊かな感性を育てる。 ( 評価点                    3.4 )	4 3 2 1	40 60 0 0	
<b>(3) 関係機関や地域・保護者との連携強化</b>			
①PTA総会や各部保護者会の出席率を高め、ニーズに応じた保護者研修会等を実施することにより、教育方針の周知・理解と連携に努める。 ( 評価点                    3.1 )	4 3 2 1	10 90 0 0	・感染症対策や業務の削減により、寄宿舍における保護者が参加する行事が減っている。 ・連絡帳や送迎の際のやり取り、寄宿舍便りの発行等、今後も保護者に寄り添う姿勢でこまめに行う。
②学校ホームページ等を通じて情報の発信に努め、学校教育の理解・啓発に努める。 ( 評価点                    3.2 )	4 3 2 1	20 80 0 0	

目標達成のための主な取組	点数	評価	今後に向けての課題
		%	
<b>(4)教職員の専門性および指導力の向上</b>			
③手話講習会等の外部講師を招聘した研修会を実施し、聴覚障害教育に関する専門性の維持継承に努める。 (評価点 3.6)	4	60	
	3	40	
	2	0	
	1	0	
④センター研修や九聴研等各種研修会に積極的に参加し、特別支援教育に関する専門性や指導力向上を図る。 (評価点 3.3)	4	30	
	3	70	
	2	0	
	1	0	
<b>(6)キャリア教育の充実</b>			
①幼児児童生徒の実態やキャリア発達段階に応じたキャリア教育全体計画の見直しに全職員で取り組む。 (評価点 3.1)	4	10	・今年度キャリア教育全体計画を改定する。次年度は寄宿舎においても本校が示す児童生徒のキャリア発達を踏まえた日々の支援に取り組むことが望まれる。
	3	90	
	2	0	
	1	0	
<b>(7)施設・設備の整備と教育環境の充実</b>			
①日常の点検に加えて各月の安全点検を徹底し、安心安全な教育環境整備に努める。 (評価点 3.9)	4	90	
	3	10	
	2	0	
	1	0	
②事故や災害防止に向けた訓練を実施し、外部専門家による指導助言を受けながら危機管理マニュアルの見直しや整備をすすめ、事件・事故のない学校づくりに努める。 (評価点 3.7)	4	70	
	3	30	
	2	0	
	1	0	
<b>(8)働き方改革の推進</b>			
①業務改善アクションプランの方針に沿って学校が取り組むべき課題を明らかにし、業務の効率化を徹底する。 (評価点 3.1)	4	10	・月45時間を超過する職員は0である。 ・業務内容の見直しや削減について、舎務分掌での検討や部屋担当業務内容の見直し等を積極的に行うことが望まれる。
	3	90	
	2	0	
	1	0	
②プラス1推進運動や安全衛生委員会の取組を中心にした働き方改革を推進し、風通しの良い職場づくりに努める。 (評価点 3.3)	4	30	
	3	70	
	2	0	
	1	0	
<b>(9)コンプライアンスの徹底</b>			
①服務規律強化月間の取組を中心に、服務規律の保持・徹底に努める。 (評価点 3.9)	4	90	
	3	10	
	2	0	
	1	0	
②安全衛生委員会を中心に職場環境の整備と教職員の心身の健康増進に努める。 (評価点 3.5)	4	50	
	3	50	
	2	0	
	1	0	
③適切な事務処理に努め、校務全般の透明性の確保を徹底する。 (評価点 3.8)	4	80	
	3	20	
	2	0	
	1	0	

# 寄宿舍



令和4年度 長崎県立ろう学校 学校評価 集計表(事務)

学校教育目標	○基本的人権を尊重し、幼児児童生徒の特性や発達段階、教育的ニーズに応じて幼稚園から 高等部まで一貫した教育を行うことにより、健康で明るく心豊かな人間を育成する。 ○聴覚障害による学習または生活上の困難を改善克服することにより、生きる力を高め自立し積極的に社会参加できる力を培う。		
学校経営目標	①本校と佐世保分教室が目標を共有し、保護者及び寄宿舎との連携を深め、幼稚園から高等部専攻科まで一貫した教育を推進することにより、確かな学力とコミュニケーション力を基礎に、生きる力を育成する。 ②一人一人の個性を伸ばし、豊かな人間性の育成に努め、明るく元気な学校づくりを推進する。 ③関係機関や地域と密に連携し、社会に開かれ信頼される学校づくりに努める。 ④特別支援教育及び聴覚障害教育における教職員の専門性及び指導力の向上に努める。 ⑤本校、佐世保分教室が連携し、全県的な特別支援教育のセンター的機能の充実を図る。 ⑥個々の幼児児童生徒のキャリア発達を支援し、ニーズに応じた進路指導及び進路実現を図り、自立と社会参加を目指す。 ⑦施設・設備の整備を進め、幼児児童生徒及び職員の安心安全な教育環境の充実に努める。 ⑧業務改善アクションプランに基づき会議や行事の精選及び業務分担等の適正化を図り、働き方改革を推進する。 ⑨コンプライアンスを徹底し不祥事を根絶することにより、働きやすく風通しの良い職場環境づくりに努める。		
4：十分達成している 3：おおむね達成している 2：どちらかという達成されていない 1：ほとんど達成されていない			
目標達成のための主な取組	点数	評価 %	今後に向けての課題
<b>(3)関係機関や地域、保護者との連携強化</b>			
①PTA総会や各部保護者会の出席率を高め、ニーズに応じた保護者研修会等を実施することにより、教育方針の周知・理解と連携に努める。 (評価点 3.9)	4 3 2 1	88 14 0 0	
②学校ホームページ等を通じて情報の発信に努め、学校教育の理解・啓発に努める。 (評価点 3.9)	4 3 2 1	88 14 0 0	
<b>(4)教職員の専門性および指導力の向上</b>			
③手話講習会等の外部講師を招聘した研修会を実施し、聴覚障害教育に関する専門性の維持継承に努める。 (評価点 3.9)	4 3 2 1	88 14 0 0	
④センター研修や九聴研等各種研修会に積極的に参加し、特別支援教育に関する専門性や指導力向上を図る。 (評価点 3.9)	4 3 2 1	88 14 0 0	
<b>(7)施設・設備の整備と教育環境の充実</b>			
①日常の点検に加えて各月の安全点検を徹底し、安心安全な教育環境整備に努める。 (評価点 3.7)	4 3 2 1	71 29 0 0	
②事故や災害防止に向けた訓練を実施し、外部専門家による指導助言を受けながら危機管理マニュアルの見直しや整備をすすめ、事件・事故のない学校づくりに努める。 (評価点 4.0)	4 3 2 1	100 0 0 0	
<b>(8)働き方改革の推進</b>			
①業務改善アクションプランの方針に沿って学校が取り組むべき課題を明らかにし、業務の効率化を徹底する。 (評価点 3.7)	4 3 2 1	71 29 0 0	
②プラス1推進運動や安全衛生委員会の取組を中心にした働き方改革を推進し、風通しの良い職場づくりに努める。 (評価点 3.7)	4 3 2 1	71 29 0 0	
<b>(9)コンプライアンスの徹底</b>			
①服務規律強化月間の取組を中心に、服務規律の保持・徹底に努める。 (評価点 3.9)	4 3 2 1	88 14 0 0	
②安全衛生委員会を中心に職場環境の整備と教職員の心身の健康増進に努める。 (評価点 3.7)	4 3 2 1	71 29 0 0	
③適切な事務処理に努め、校務全般の透明性の確保を徹底する。 (評価点 4.0)	4 3 2 1	100 0 0 0	

# 事務室

